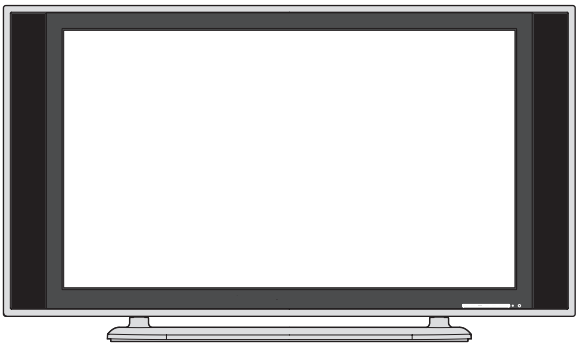
ORION

42型プラズマディスプレイ

品番 **PDM-42 (E)**

取扱説明書



このたびはORION42型プラズマディスプレイをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保存し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
■ 保証書は必ず「販売店／購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

本機にはテレビチューナー機能がございませんので本機のみではテレビの視聴はできません。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 2
ご使用になる前にかならずお読みください
お知らせ 7
主な特長 7
各部のなまえ 8
リモコンについて 9
電源について 11

基本操作

ディスプレイを見る 12

便利な使い方

言語設定のしかた 14
ビデオラベルの設定のしかた 15
パネルロックの設定のしかた 16
ピクチャーサイズの設定のしかた 19
ピクチャースクロールの設定のしかた 21
シネマモードの設定のしかた 22
映像メニューの設定のしかた 23
映像調整のしかた 24
色温度設定のしかた 25
ピクチャーメニューのリセットのしかた 26
音声調整のしかた 27
内蔵スピーカーを消音する 28
HDMI音源の選択 29
BBEの設定のしかた 30
オーディオメニューのリセットのしかた 31
スクリーンセーバーの設定のしかた 32
PCモードの映像/音声調整のしかた 33
PCモードの映像/音声調整のリセットのしかた 34

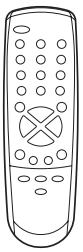
接続

外部機器との接続 35

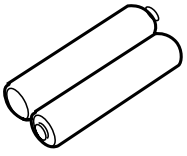
その他

故障かな？と思ったら 39
アフターサービスについて 40
仕様 41

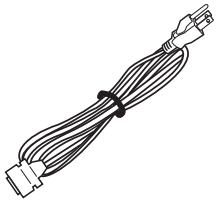
付属品をお確かめください。



リモコン×1



単４乾電池×2



電源コード×1

安全上のご注意

この取扱説明書の文中にでてくる「ディスプレイ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています。

ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所にかならず保存してください。

ORION製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上かならずお守りください。

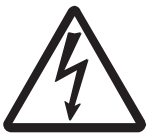
⚠警告 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠注意 この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

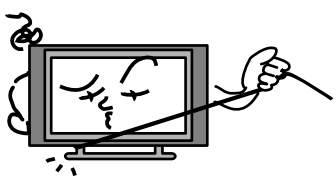
絵表示の例

注意(警告を含む)を促す記号	行為を禁止する記号	行為を強制したり指示する
		
高圧注意	接触禁止	プラグをコンセントから抜け

⚠警　告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

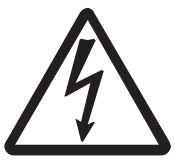
- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにかならずプラグを持って抜いてください。





禁　止

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、**感電の原因**となります。お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご依頼ください。



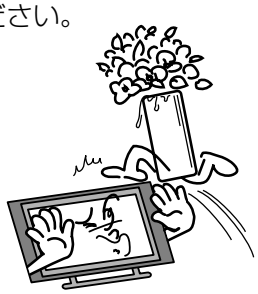
高圧注意



分解禁止

内部に異物や水分を入れない
金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、**感電や火災の原因**となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類(安全ピンやヘヤピンなど)を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。





水場での使用禁止

雷が鳴りだしたらプラグに触れないでください
感電の原因となります



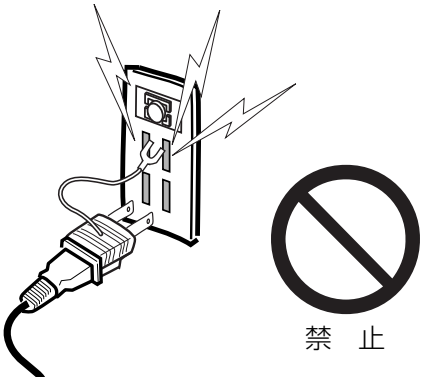
接触禁止

本機は国内専用です
電源プラグを交流100ボルト(AC100V)の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると**火災や感電の原因**となります。



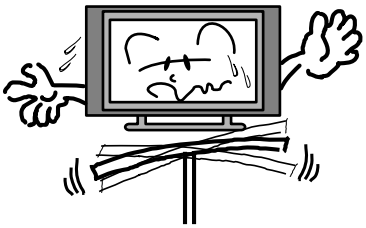
AC100V以外禁止

市販品の電源プラグアダプターをご使用になる場合、**アース線を電源コンセントに差し込まない**
火災・感電の原因となります。



禁　止

設置場所や取り付けには気を付けて
水平で安定した場所に設置する
ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下による**けがや物損事故の原因**となることがあります。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

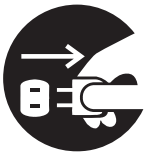




禁　止

異常時の処置
故障のまま使い続けると、**火災や感電、けがの原因**となります
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。(画面が映らない、音がでない)
- 電源コードやプラグに傷がある。



プラグをコンセントから抜け

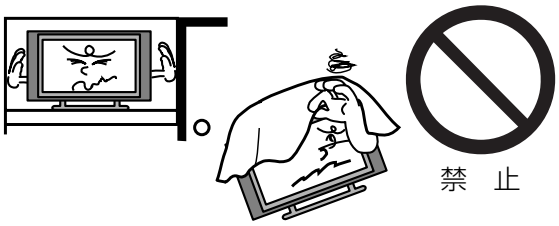


ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠ 注　意

通風孔をふさがない
通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は壁から 10cm 以上の間隔を開けてください。



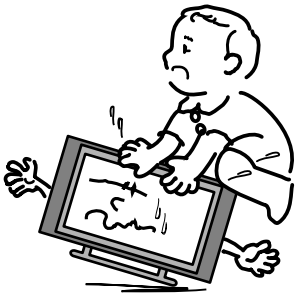
禁　止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない
火災や感電の原因となることがあります。



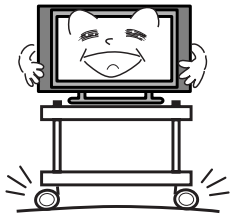
禁　止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない
倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。



禁　止

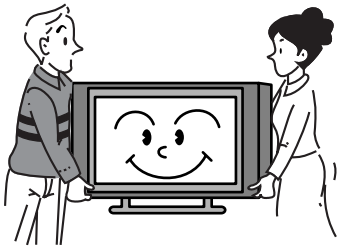
キャスター付テレビ台に置くときは、キャスター止めをする
可動式の台は動きやすいため、転倒による**けがの原因**となることがあります。



指　示

梱包や持ち運び、設置は二人以上で行う

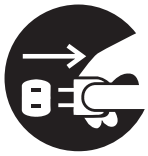
- 本機は質量が重く奥行きが無くて不安定なため、一人で作業すると**けがの原因**になります。
- プラズマパネルが家具などの角にぶつかって割れないように気をつけてください。
- パネル面を上または下にしての持ち運びは内部の故障の原因になりますのでしないでください。



指　示

安全のため電源プラグを抜く
次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。**

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合(この場合は、接続コードなどもはずしてください。)



プラグをコンセントから抜け

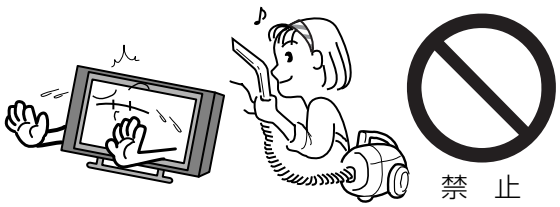
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

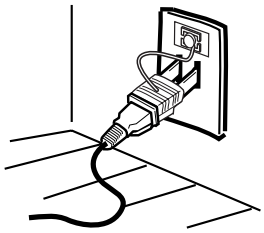
1年に1度は内部の掃除をお買い上げ店にご依頼ください
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、**火災や故障の原因**となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

- お客様ご自身による内部の掃除は絶対にしないでください。**感電の原因**となります。
- 内部清掃費用については、お買い上げ店にご相談ください。



禁　止

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を
長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

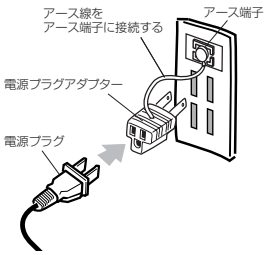




禁　止

アース線を必ず接地する
安全のために、かならずアース接地をしてご使用ください。

- アースなしの２極コンセントの場合は、アース工事が必要となります。アース工事はお買い上げ店・電気工事店にご相談ください。



- アース端子付きコンセントの場合、電源プラグアダプター（市販品）を使用し、アース線をアース端子に接続してください。
- アース接続は、かならず電源プラグをコンセントに接続する前に行なってください。
- アース接続を外す場合、かならず電源プラグをコンセントから切り離してから行なってください。
- 電波障害や他機器への妨害、他機器からの妨害を受けない為に、かならずアース線を接続してください。。
- 電源プラグアダプター（市販品）を使用する場合、電源プラグのアース線は、かならずアース端子に接続してください。電源コンセントに差し込むと、**感電や火災の原因**となります。

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

安全上のご注意 (つづき)

プラズマパネルの取り扱いについて

前面パネルには、(絶対に)衝撃を加えないでください。本機の前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、**火災やけがの原因**となります。

お手入れについて

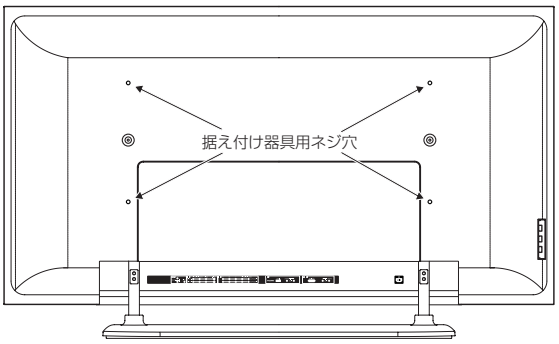
- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- プラズマパネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
  - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。



壁面への据え付けについて

- 本機を壁に据え付けるさいには、本機背面と壁との間に、少なくとも6cmの距離をとってください。6cm以下の場合、通風孔がふさがって本機の内部が過熱し、**故障の原因**になるおそれがあります。
- 本機を壁に据え付けるさいには、お買い上げ店に依頼して、専用の器具で据え付けてください。不完全または誤った据え付け方をすると、**けがや故障の原因**になるおそれがあります。
- 据え付け器具用ネジ穴：据え付け器具(市販品)を取り付けるさいには、ネジをはずしてください。



お知らせ

面欠点について
プラズマパネルには、画面の一部に欠点(光らない点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。これは故障ではありません。

残像について
静止画(画面表示など)やメニュー表示を短時間(約1分間)表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、故障ではありません。自然に回復します。

パネルの表面について
プラズマパネルは、パネルの内部で放電を起こすことにより映像を表示しているため、パネルの表面温度が高くなる場合があります。パネルの前面にはガラス製のフィルターを取り付けていますが、破損するおそれがありますので強い衝撃を与えないでください。

パネルの駆動音について
「ジー」というプラズマパネルの駆動音が視聴中に聞こえることがあります。故障ではありません。

輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオテープなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

焼き付きについて
静止画(画面表示など)や、ゲーム機などの動きの少ない映像や画像を長時間または繰り返し表示したり、ワイドモード(16：9)映像をノーマルモード(4：3)で長時間ご覧になると、プラズマパネルが焼き付きを起こす場合がありますので、ワイドモードはノーマル以外のモードで使用することをおすすめします。焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

主な特長

オンスクリーン表示
映像調整、音声調整など、画面を見ながら設定ができます。

オンスクリーン表示の言語選択
英語、スペイン語、フランス語の中から選択できます(日本語は表示できません)。

映像/音声調整
お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「明るさ」・「コントラスト」・「色」・「色あい」・「シャープネス」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」・「高音」・「バランス」をお好みの音声に調整することができます。

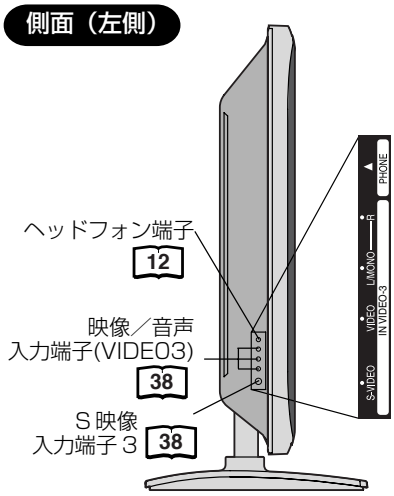
BBE
臨場感あふれる躍動的な音声を楽しめます。

おやすみタイマー
おやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的にディスプレイを消すことができます。(10分刻み、最長120分まで)

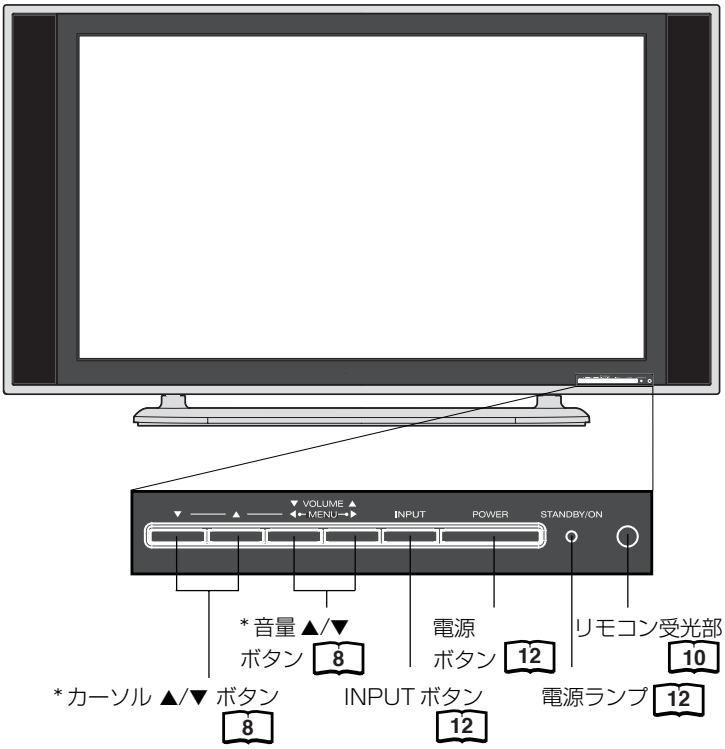
Sビデオ/コンポーネント端子
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのAV機器と接続して高品位な映像を楽しむことができます。

各部のなまえ

側面（左側）

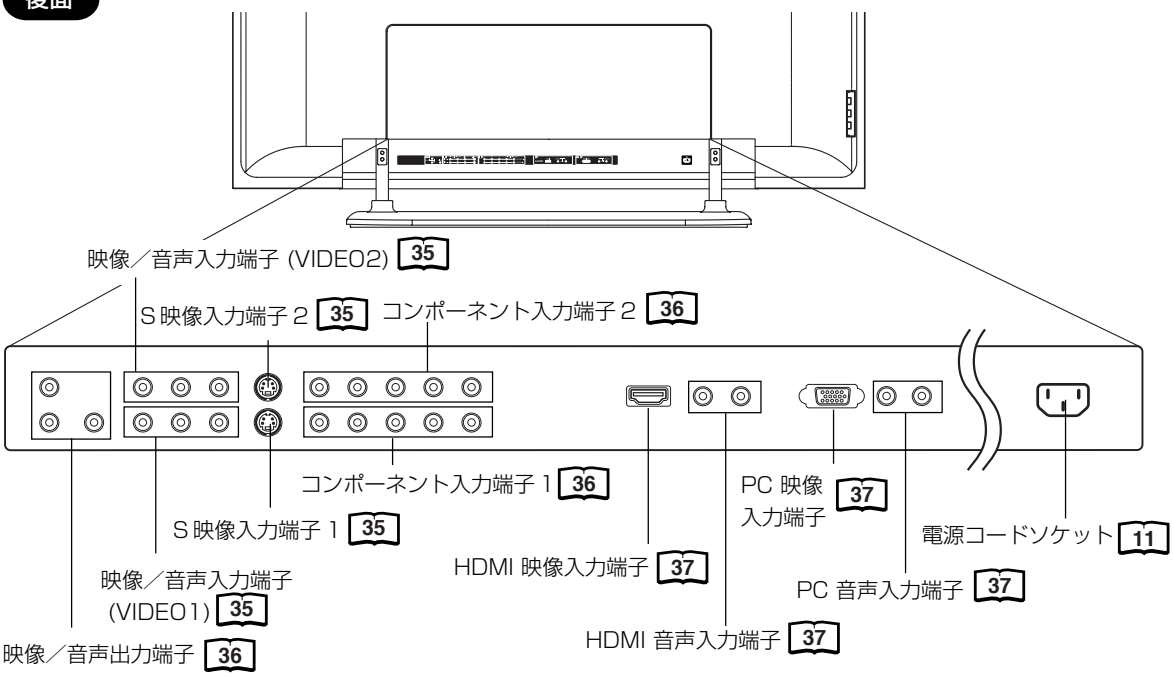


前面



*オンスクリーン設定画面を表示する
両方の音量ボタンを同時に押すとオンスクリーン設定画面が表示されます。
カーソル ▲/▼ ボタンと音量 ▲/▼ ボタンを使ってオンスクリーン設定画面でお望みの設定をすることができます。

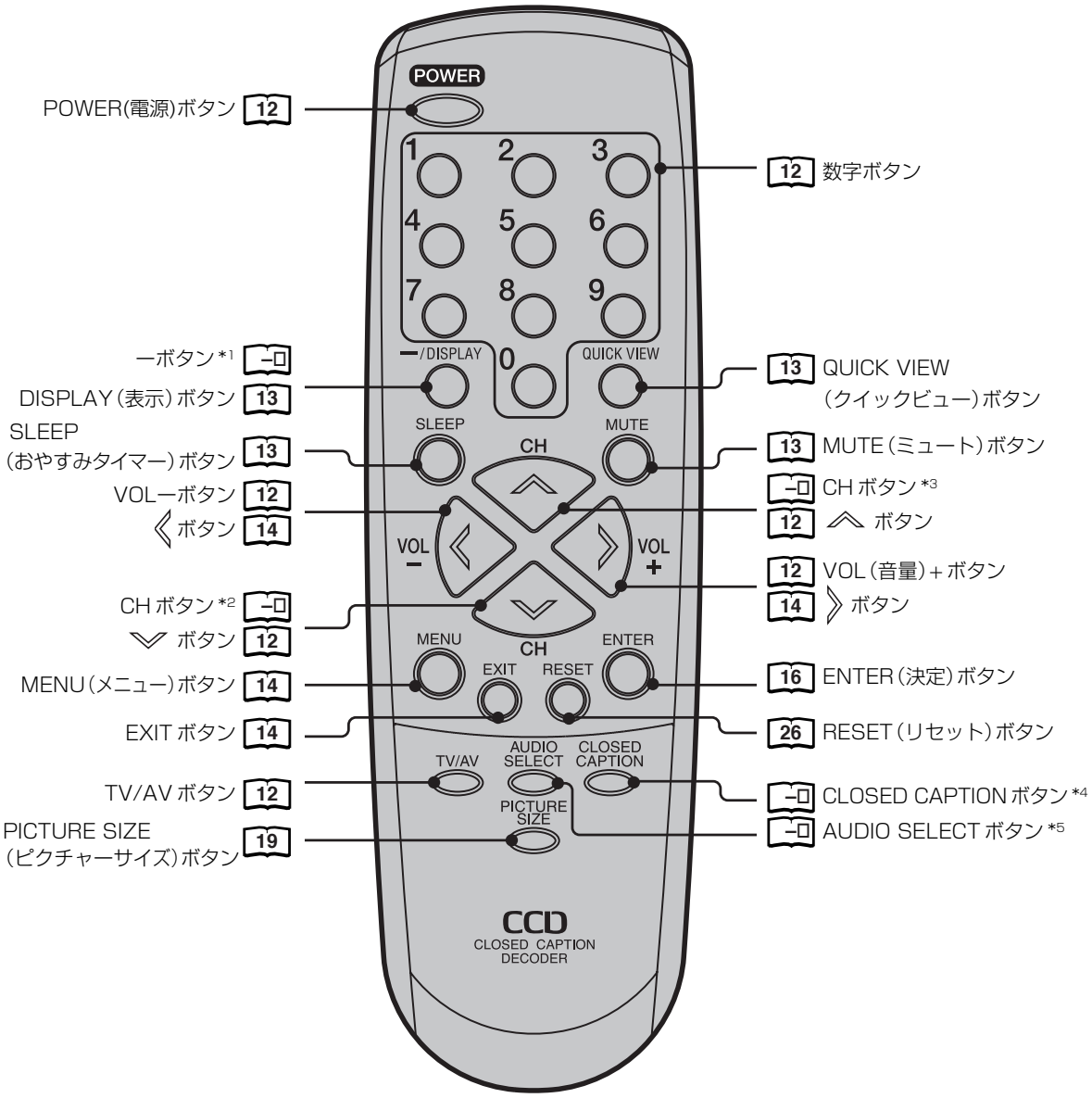
後面



リモコンについて

側面（左側）

＊[ ] 内の数字は参照ページです。



ご注意

このリモコンには、押しても動作しないボタンが含まれておりますのでご注意ください。ボタンは以下の通りです。

*1　DISPLAY ボタンの働きのみで、「ーボタン」としては動作しません。

*2,3　方向ボタン（ / ）としての働きのみで、チャンネルの変更はできません。

*4　日本では動作しない機能のため、押さないでください。誤って押したときは、EXIT ボタンを押してください。

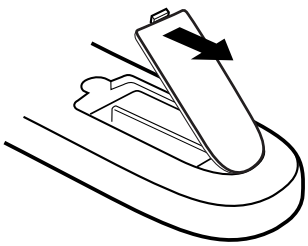
*5　使用できません。

リモコンについて （つづき）

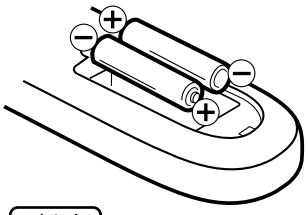
リモコンに乾電池を入れる

単４乾電池を２本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス側を先に入れてください。

1 **電池ぶたをはずす**
電池ぶたを押しながら矢印の方向に開きます。



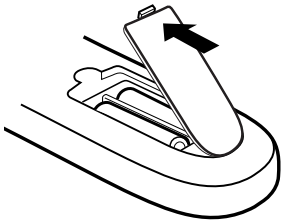
2 **乾電池を入れる**
付属の乾電池を、リモコンの内部に書かれてある ⊕/⊖ の表示どおりに入れる。



ご注意

極性（ ⊕/⊖ ）を間違えないように入れてください。

3 **電池ぶたを閉める**
電池ぶたを矢印の方向に戻します。



ご注意

操作しにくくなったら２本とも電池を交換してください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池はふつうの使い方で 6 か月から 1 年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったら交換してください。

乾電池の取扱いについて

- 乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂するおそれがありますので次のことをお守りください。

⚠警告

- 火中へ投入、加熱、分解しない
- ショートさせない
- 充電しない

⚠注意

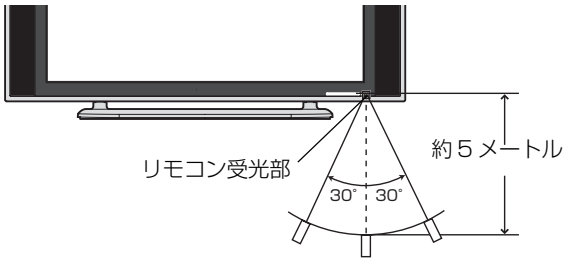
- （ ⊕/⊖ ）の表示どおりに入れる
- 指定以外の電池を使わない
- 種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 使い切った電池はすぐに取り出す。
- しばらく使わないときは取り出しておく

万一液漏れしたら

- 液をよくふき取る
- 液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流す

リモコンの正しい使いかた

- 本機前面のリモコン受光部の正面から約５メートル、左 30 度、右 30 度の範囲でお使いください。



正しく動作させるために

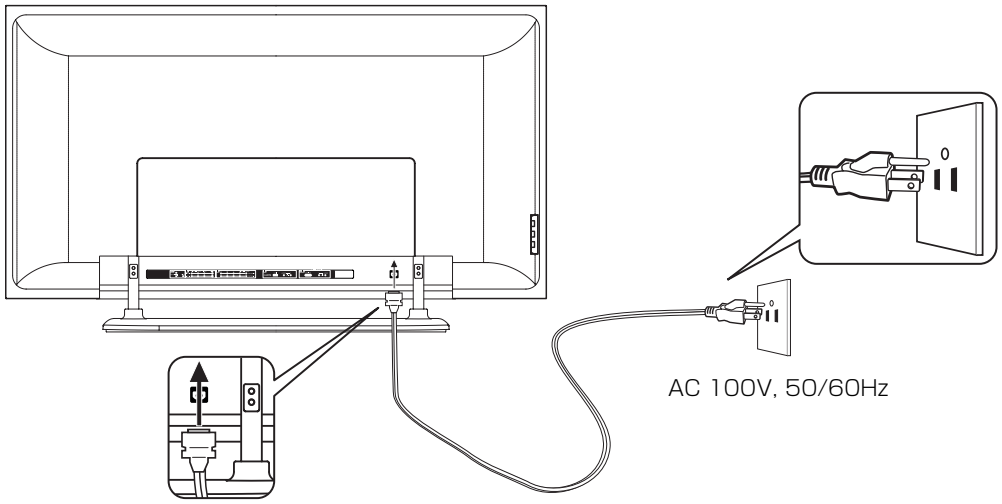
次のような場合、リモコンが誤作動したり、働かないことがあります。

- 本体とリモコンの間に障害物があるとき
- リモコン受光部に直射日光などの強い光があたったとき

電源について

電源コードの接続について

1. 付属の電源コードのコネクター側を本機の後面下部にある電源ソケットに差し込む。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。



ご注意

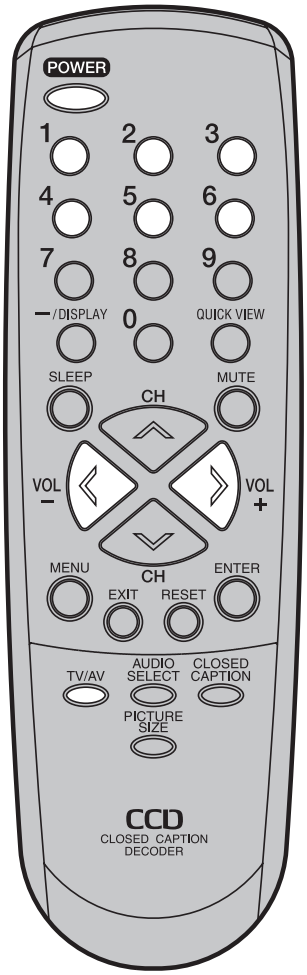
- 本機側、コンセント側ともに、電源コードはしっかりと差し込んでください。
- 付属の電源コードはアース付きタイプです。お客様のコンセントがアースなしの２極コンセントの場合はアース工事が必要ですので、お買い上げ店または電気工事店にご相談ください。

⚠ **警告**	● 付属の電源コード以外のもので本機とコンセントをつなげないでください。火災、感電の原因となります。 ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

⚠ **注意**	● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

ディスプレイを見る

外部機器との接続ができたらすぐにその映像／音声を楽しむことができます。リモコンで離れたところから操作できます。



ご注意

- ヘッドフォンでお聞きになるときは、大音量で長時間聞きすぎると聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。
- リモコンのPOWER(電源)ボタンで電源を切っても、約8.5ワットの電気を使っています。長期間の外出やご旅行のときなどは、安全と節電のために電源プラグを抜いてください。

1

POWER（電源）で電源を入れる。

前に見ていた外部機器の映像／音声が映り、STANDBY/ONランプが点灯します。

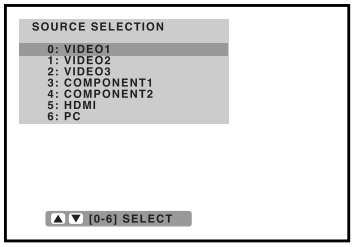
押すごとに電源を入／切できます。

2

1 TV/AVを押す。

SOURCE SELECT（入力選択）が表示されます。

（ディスプレイ前面のINPUTボタンでも表示されます。）



2 数字ボタン、

∧／∨、または**TV/AV**を繰り返し押して、入力を選びます。

VIDEO1、VIDEO2、VIDEO3、COMPONENT1、COMPONENT2、HDMI、PCから選べます。

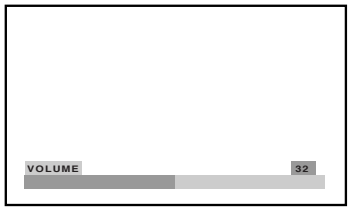
3

VOL（音量）

＋／−で音量を調節する。

音量が数字と

■■■（バー）で画面に表示されます。

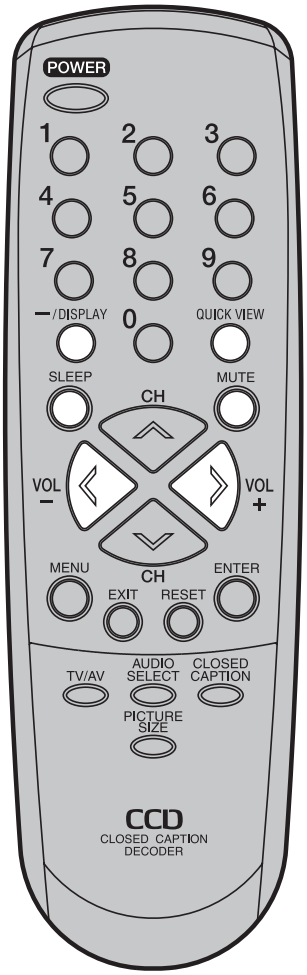


- **VOL(音量)+**を押すごとに音量が大きくなり、**VOL(音量)-**を押すごとに音量が小さくなります。

ヘッドフォンでお聞きになるとき

市販のヘッドフォンを側面のヘッドフォン端子に差し込みますと、スピーカーの音が消え、ヘッドフォンで聞くことができます。

イヤフォンでもお聞きになれますが、片方の音しか聞くことができません。



音だけを消したいとき

MUTE（ミュート）を押す。

MUTE（ミュート）をもう一度押すか、**VOL（音声）＋/－**を押すともとの音量に戻ります。

こんなときに便利です。

・電話がかかってきたとき

・来客のとき

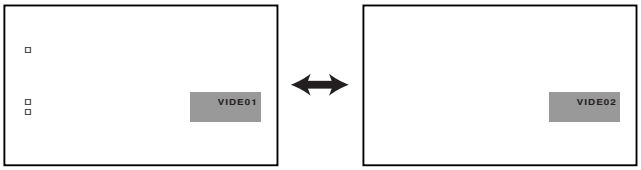




直前に見ていた外部機器の映像／音声を視聴したいとき

QUICK VIEW（クイックビュー）を押す。

直前に見ていた外部機器の映像／音声に切り換わります。



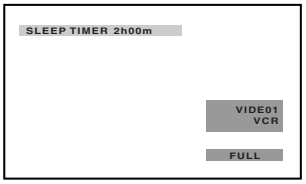
設定を画面に出したいとき

DISPLAY（表示）を押す。

次の設定が表示されます。

- 選択している画面モード
- ビデオラベル（設定が必要です）
- SLEEP TIMER(おやすみタイマー)（設定が必要です）
- ピクチャーサイズ

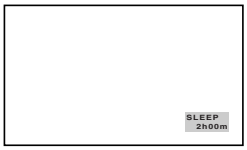
もう一度押すと表示画面が消えます。



ディスプレイを見ながらおやすみになるとき

おやすみタイマーのセットのしかた

おやすみタイマーは設定した時間が経過すると、ディスプレイを自動的に消すことができます。ディスプレイを見ながらおやすみになるときなどに便利です。



約４秒後に表示は消えます。

SLEEP(おやすみタイマー)を押して何分後に消すかを選ぶ。

押すごとに 0h00m → 0h10m →⋯→ 1h50m → 2h00m の順で電源を切る時間を表示します。

設定後は 10 分ごとに残りの時間を約４秒間表示します。

おやすみタイマーを取り消すには

SLEEP(おやすみタイマー)をくり返し押して「0h00m」を選びます。

残りの時間を確かめるには

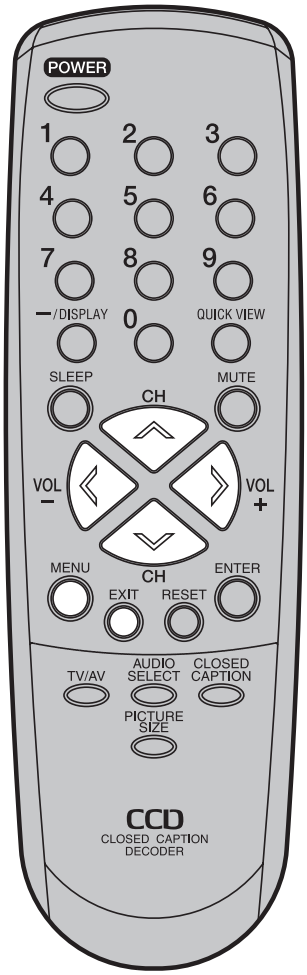
SLEEP(おやすみタイマー)を１回押します。画面に残り時間を表示します。

時間を変えるには

SLEEP(おやすみタイマー)をくり返し押してご希望の時間に変えます。

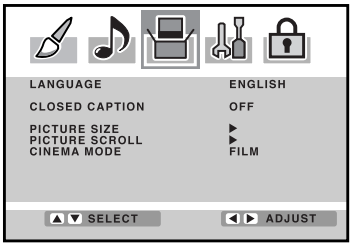
言語設定のしかた

オンスクリーン設定画面の使用言語を英語、フランス語、スペイン語の中から選ぶことができます。

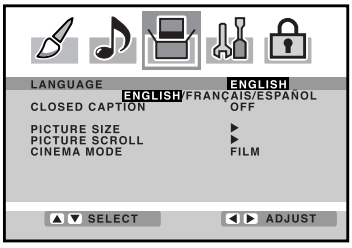


1 **MENU(メニュー)** を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で （セットアップメニュー）を選ぶ。



3 ∧/∨で「LANGUAGE(メニュー言語)」を選ぶ。



4 《/》で「ENGLISH（英語）」、「FRANÇAIS（フランス語）」、「ESPAÑOL（スペイン語）」の中から言語を選ぶ。

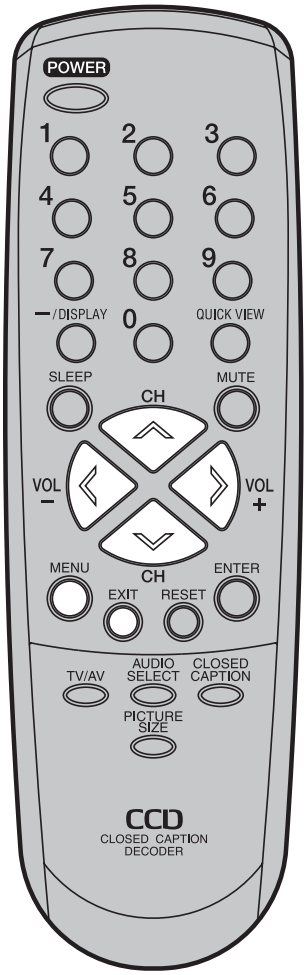
5 **EXIT** を押す。
通常の画面に戻ります。

ご注意

- オンスクリーン設定画面の使用言語の中に日本語は含まれておりません。
- メニュー画面を表示させた後、約60秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。もう一度最初からやり直してください。

ビデオラベルの設定のしかた

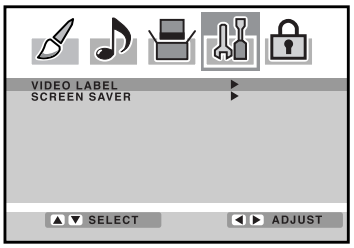
ビデオラベル機能は、接続した外部機器名を表示する機能です。



1

1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。

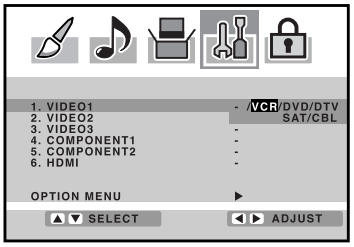
2 《/》で (オプションメニュー)を選ぶ。



2

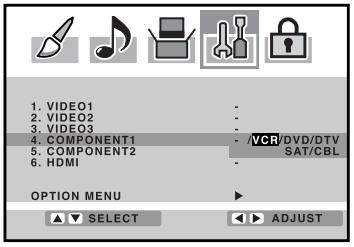
1 ∧/∨で「VIDEO LABEL（ビデオラベル）」を選ぶ。

2 《/》を押す。
ビデオラベル画面が表示されます。



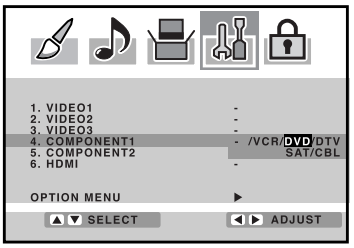
3

∧/∨を押して外部機器名を表示したい外部入力を選ぶ。



4

《/》を押して表示したい外部機器名を選ぶ。



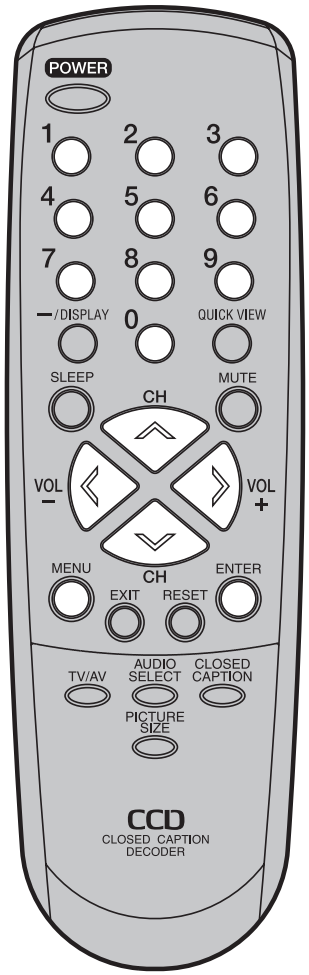
−： 初期設定の名称をそのまま使用
VCR： ビデオレコーダー
DVD： DVD プレーヤー
DTV： デジタル TV チューナー
SAT： 衛星放送チューナー
CBL： ケーブル放送チューナー
HD： HDMI 機器（HDMI 入力でのみ選択可能）

5

EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

パネルロックの設定のしかた

ディスプレイ前面のボタン（POWERを除く）を無効にする機能です。子どもなどによる不意の設定変更を防ぐことができます。設定にはパスワードの登録が必要です。



ご注意

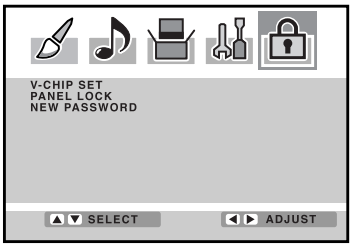
パスワードを忘れないでください。パスワードを忘れた場合はパネルロックを解除できませんので、裏表紙に記載のドウシシャサービスセンターに相談してください。

パスワードの登録

1

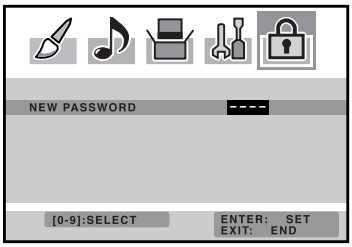
1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（ロックメニュー）を選ぶ。



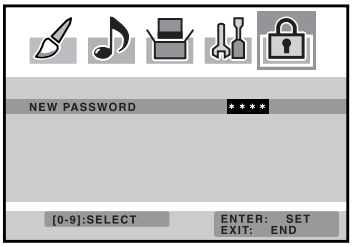
2

∧/∨ を押す。
パスワード入力画面が表示されます。



3

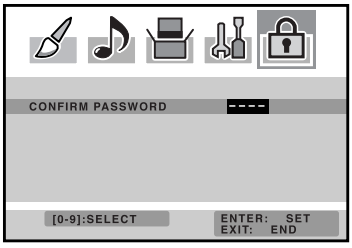
番号ボタン（0-9）で4けたのパスワードを入力し、**ENTER（決定）**を押す。

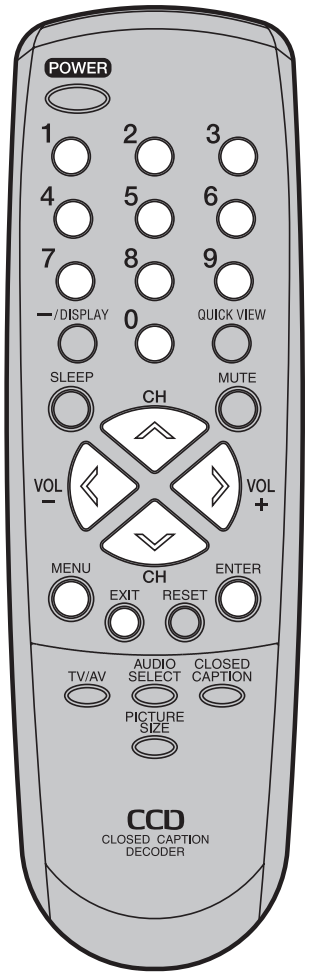


数字のかわりに「*」が表示されます。

4

確認のため同じパスワードを入力し、**ENTER（決定）**を押す。
パスワードは登録され、ロック設定画面が表示されます。



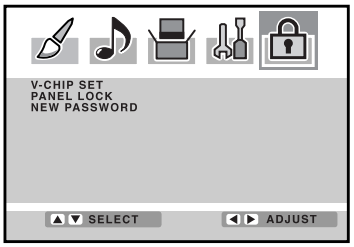


ご注意

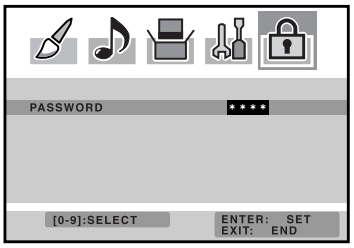
（ロックメニュー）の「V-CHIP」機能は、日本国内で動作しない機能ですので設定しないでください。

パネルロックの設定

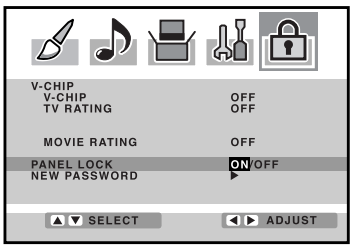
1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。
2 《/》で（ロックメニュー）を選ぶ。



1 ∧/∨を押す。
パスワード入力画面が表示されます。
2 番号ボタン（0-9）で現在のパスワードを入力し、ENTER（決定）を押す。
ロック設定画面が表示されます。



∧/∨で「PANEL LOCK（パネルロック）」を選び《/》で「ON（オン）」を選ぶ。
ディスプレイ前面のボタン（POWERを除く）を押すと、「NOT AVAILABLE」と表示されます。

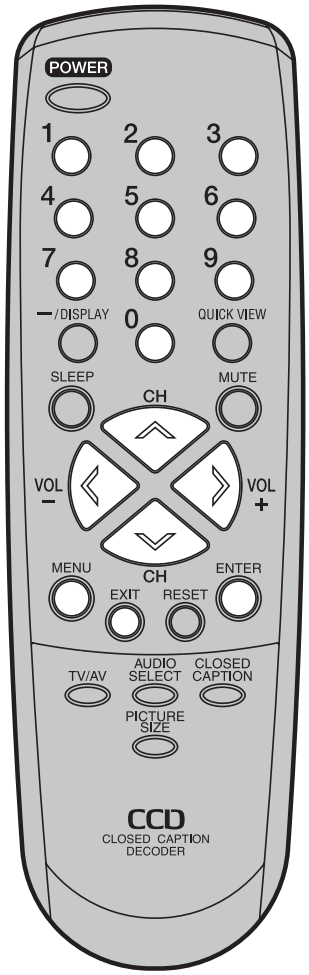


4 EXITを押す。
通常の画面に戻ります。

パネルロックの解除

上記手順3で「OFF（オフ）」を選びます。
また、ディスプレイ前面の**VOLUME▼**を「PANEL LOCK: OFF」と画面に表示されるまで約10秒間押し続けることによっても解除できます。

パネルロックの設定のしかた　（つづき）



ご注意

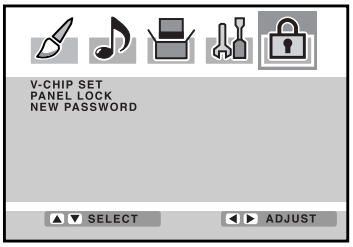
（ロックメニュー）の「V-CHIP」機能は、日本国内で動作しない機能ですので設定しないでください。

パスワードの変更

1

1 **MENU(メニュー)** を押す。
メニュー画面が表示されます。

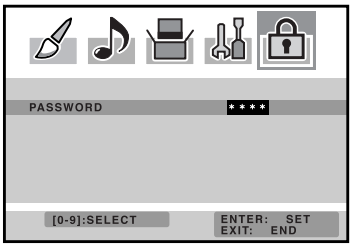
2 ≪/≫ で （ロックメニュー）を選ぶ。



2

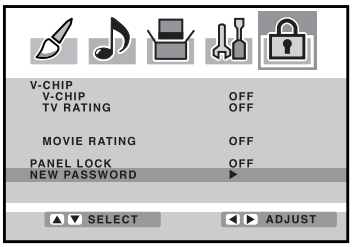
1 ∧/∨ を押す。
パスワード入力画面が表示されます。

2 **番号ボタン（0-9）** で現在のパスワードを入力し、**ENTER（決定）** を押す。
ロック設定画面が表示されます。



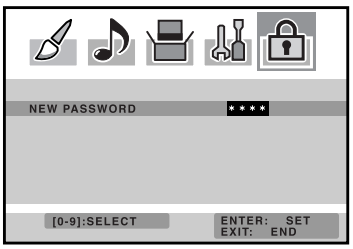
3

∧/∨ で「NEW PASSWORD（パスワードの変更）」を選び、≪/≫ を押す。
パスワード入力画面が表示されます。



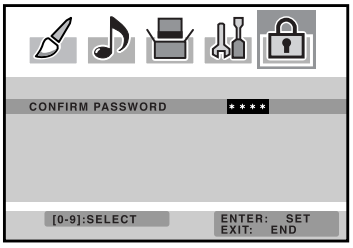
4

番号ボタン（0-9） で４けたの新しいパスワードを入力し、**ENTER（決定）** を押す。



5

確認のため同じパスワードを入力し、**ENTER（決定）** を押す。

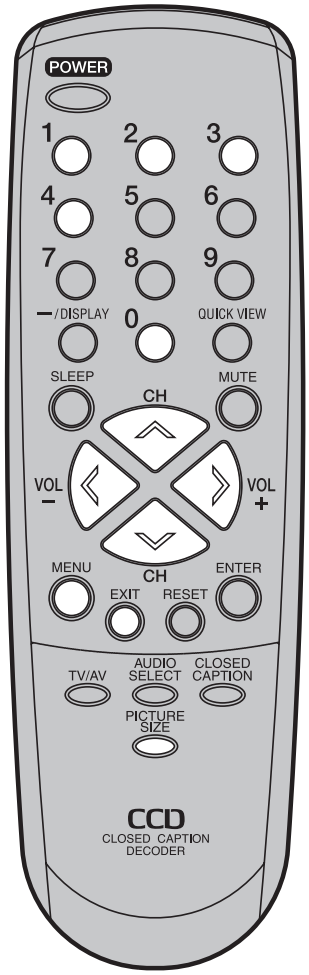


6

EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

ピクチャーサイズの設定のしかた

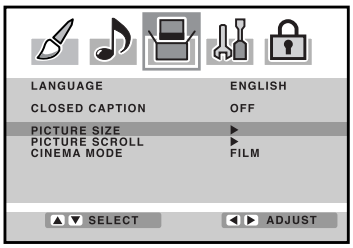
480i 映像信号や 480p 映像信号をさまざまな映像サイズ（NATURAL、CINEMA WIDE1、CINEMA WIDE2、CINEMA WIDE3、FULL）で楽しむことができます。



ピクチャーサイズの設定

1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。

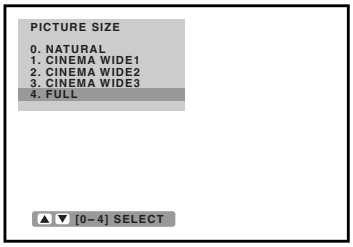
2 ⟨/⟩ で （セットアップメニュー)を選ぶ。



1

1 ∧/∨ で「PICTURE SIZE(ピクチャーサイズ)」を選ぶ。

2 ⟨/⟩ を押す。
ピクチャーサイズメニューが表示されます。



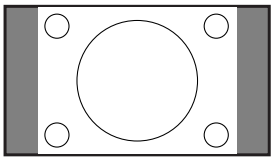
2

3 ∧/∨ または**番号ボタン（0-4）**でピクチャーサイズを選ぶ（下記および次ページを参照）。

4 **EXIT** を押す。
通常の画面に戻ります。

NATURAL サイズ

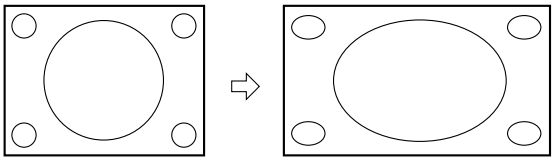
多くの場合、左右に灰色の帯のある標準的な４：３映像として表示されます。



CINEMA WIDE 1 サイズ（4：3 映像用）

４：３映像を 16：９映像にするため、映像の中央部はほとんど変わりませんが、左端と右端の映像は横長に引きのばされます。

映像の上端と下端が表示されない可能性があります。



ご注意

（セットアップメニュー）の「CLOSED CAPTION」機能は、日本国内では動作しない機能ですので設定しないでください。もし設定した場合、不必要な文字が表示されるかもしれません。

メモ

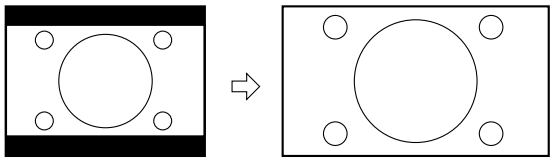
ピクチャーサイズメニューは、リモコンの **PICTURE SIZE**（ピクチャーサイズ）を押すことによっても表示することができます。

ピクチャーサイズの設定のしかた（つづき）

CINEMA WIDE2 サイズ（レターボックス映像用）

縦横ともに同じ比率で引きのばされるので、全体の映像は均一に拡大されます（元の比率が保持されます）。

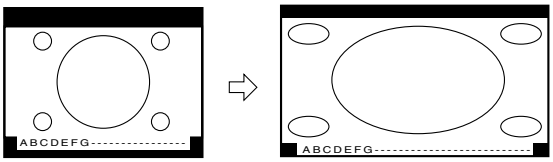
映像の上端と下端が表示されない可能性があります。表示されない部分を見るためには、次のページで説明するピクチャースクロール機能を利用してください。



CINEMA WIDE 3 サイズ（字幕付きのレターボックス映像用）

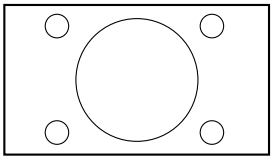
映像の幅を広げるため、水平方向に映像は拡大されます。しかし、上端と下端が少し引きのばされるだけです。

映像の上端と下端が表示されない可能性があります。表示されない部分部分（字幕など）を見るためには、次のページで説明するピクチャースクロール機能を利用してください。



FULL サイズ（１６：９映像用）

映像を最大サイズで表示します。

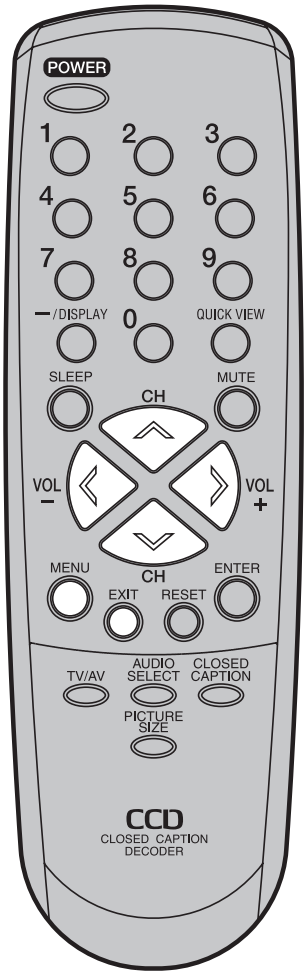


ご注意

- ピクチャーサイズ機能は、1080i 映像信号や 720p 映像信号などいくつかの映像信号では利用できません。そのような映像信号は FULL サイズで表示されます。
- ピクチャーサイズ機能は、PC モードでは利用できません。

ピクチャースクロールの設定のしかた

CINEMA WIDE2 サイズと CINEMA WIDE3 サイズでは映像を上下に調整することができます。



ご注意

（セットアップメニュー）の「CLOSED CAPTION」機能は、日本国内では動作しない機能ですので設定しないでください。もし設定した場合、不必要な文字が表示されるかもしれません。

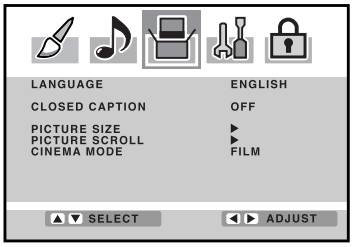
ご注意

調整できる範囲は次の通りです

- 480i/480p 映像信号
  - CINEMA WIDE1 サイズ：
    調整できません
  - CINEMA WIDE 2 サイズ：
    -10 から +10 まで
  - CINEMA WIDE 3 サイズ：
    -10 から +10 まで

1

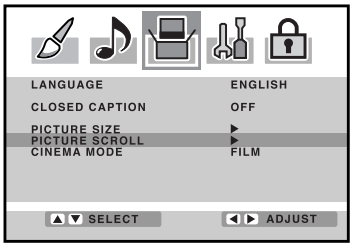
1 CINEMA WIDE2 サイズモードか CINEMA WIDE3 サイズモードで **MENU(メニュー)** を押す。
メニュー画面が表示されます。



2 《/》で（セットアップメニュー）を選ぶ。

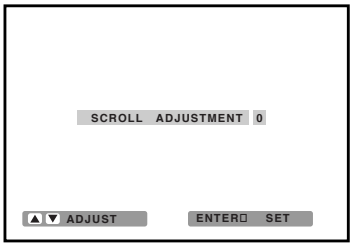
2

∧/∨ で「PICTURE SCROLL（ピクチャースクロール）」を選ぶ。



3

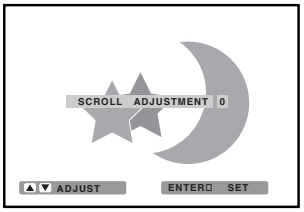
《/》を押す。
SCROLL ADJUSTMENT モードが表示されます。



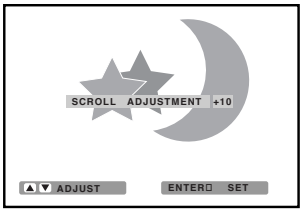
4

∧/∨ で映像の垂直方向の位置を調整する。

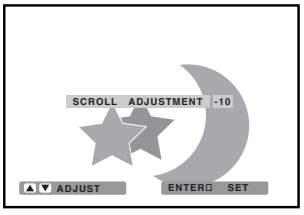
通常（普通）の位置



映像を上げるには ∧ を押す。



映像を下げるには ∨ を押す。

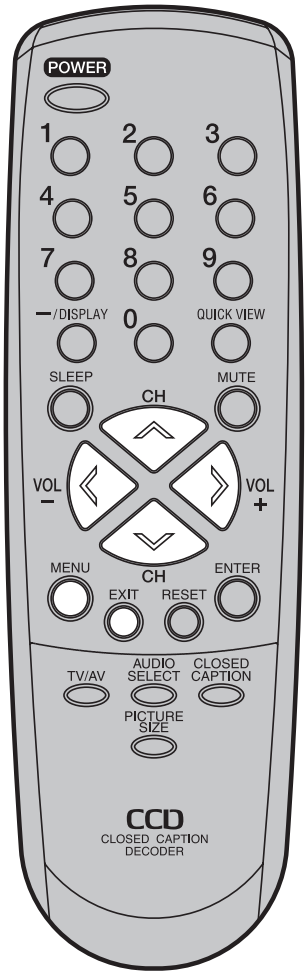


5

EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

シネマモードの設定のしかた

コンポーネント端子でDVDプレーヤーと接続している場合、シネマモードを「FILM（フィルム）」に設定すると映像がなめらかな動きになります。



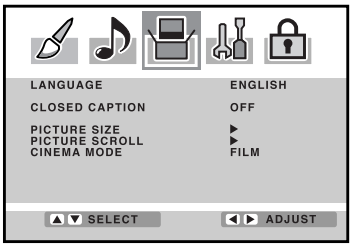
ご注意

- （セットアップメニュー）の「CLOSED CAPTION」機能は、日本国内では動作しない機能ですので設定しないでください。もし設定した場合、不必要な文字が表示されるかもしれません。

シネマモードを「FILM（フィルム）」に設定する

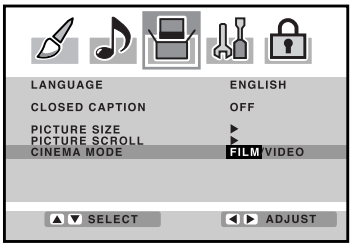
1 MENU（メニュー）を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で （セットアップメニュー）を選ぶ。



1

2 ∧/∨で「CINEMA MODE（シネマモード）」を選び、《/》で「FILM（フィルム）」を選ぶ。



2

3 EXITを押す。
通常の画面に戻ります。

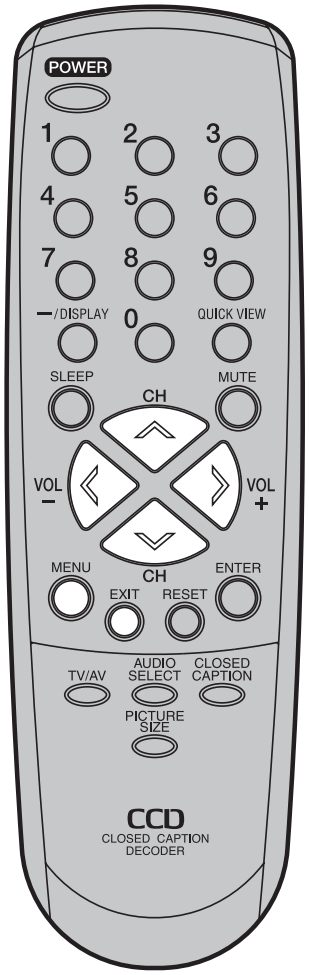
3

シネマモードを「VIDEO（ビデオ）」に設定する

上記手順2で「VIDEO（ビデオ）」を選びます。

映像メニュー設定のしかた

本機にはあらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて「SPORTS（スポーツ）」「STANDARD（標準）」「MOVIE（シネマ）」「MEMORY（ユーザー設定）」を切り換えてお楽しみになれます。



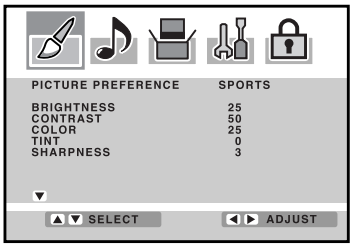
ご注意

PICTURE PREFERENCE（映像メニュー）を選択すると、自動的に映像調整（24ページ）と色温度設定（25ページ）の項目も変更されます。

1

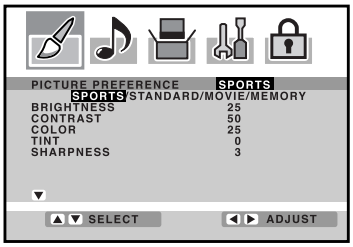
1 MENU（メニュー）を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（ピクチャーメニュー）を選ぶ。



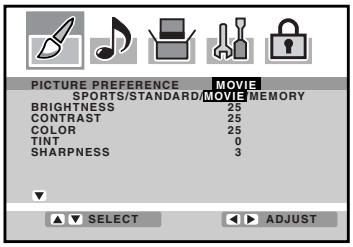
2

《/》で「PICTURE PREFERENCE（映像メニュー）」を選ぶ。



3

《/》でお好みの設定を選ぶ。



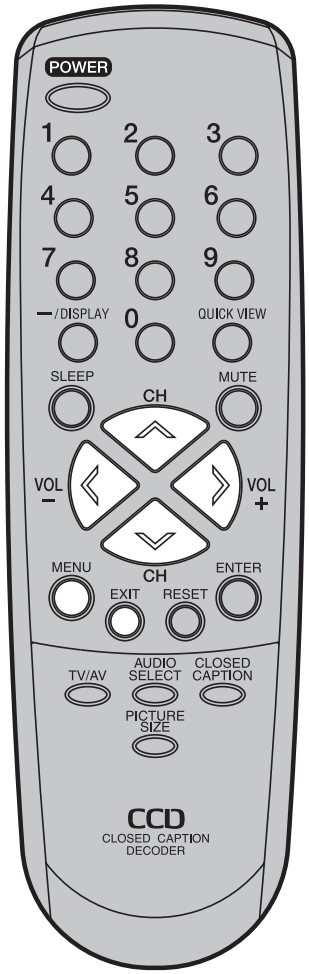
モード	映像品質
SPORTS（スポーツ）	輝度が強調され、よりダイナミックな映像が楽しめます
STANDARD（標準）	標準の設定
MOVIE（シネマ）	映画などに適した設定です
MEMORY（ユーザー設定）	お好みに調整された（24ページ）設定です

4

EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

映像調整のしかた

お買い上げ時は、標準のカラー映像に調整しています。ふだんは調整する必要はありません。お部屋の明るさやご覧になる番組に合わせて「BRIGHTNESS（明るさ）」「CONTRAST（コントラスト）」「COLOR（色）」「TINT（色合い）」「SHARPNESS（シャープネス）」をお好みの映像に調整できます。



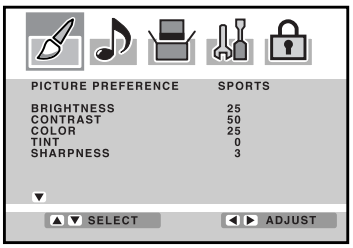
メモ

- 映像調整を行うと、自動的に映像メニュー設定（23ページ）の項目が「MEMORY（ユーザー設定）」に変更されます。
- 調整画面は、約60秒間で消えます。途中で調整画面が消えたときは、もう一度最初からやり直してください。
- 「CONTRAST（コントラスト」はお買い上げ時に最高値（50）に設定されています。

1

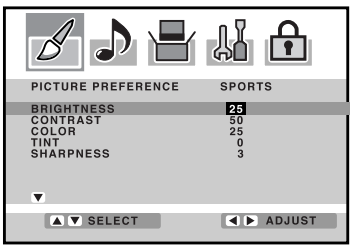
1 MENU（メニュー）を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（ピクチャーメニュー）を選ぶ。



2

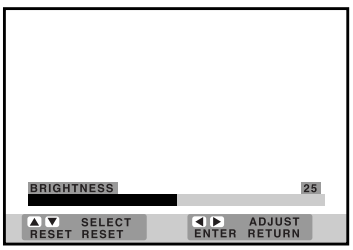
∧ / ∨ で調整項目を選ぶ。



3

1 《/》を押す。
選択した項目の調整画面が表示されます。

2 《/》でお好みの映像に調整する。



- 引き続き他の映像を調整するときは、∧ / ∨を押して調整項目を選び、この操作を繰り返し行います。

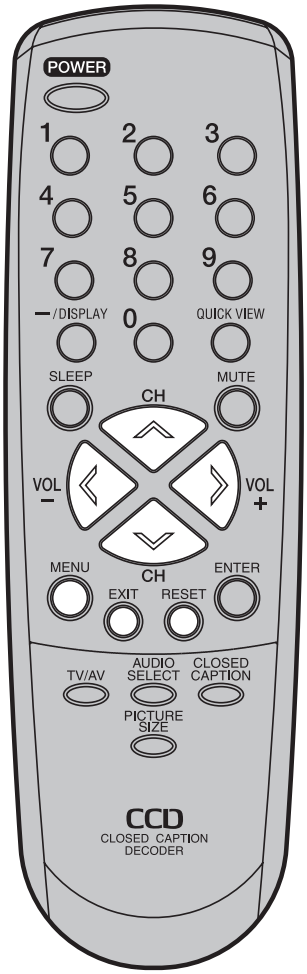
調整項目	《 ボタン	》 ボタン
BRIGHTNESS（明るさ）	暗くなる	明るくなる
CONTRAST（コントラスト）	淡くなる	濃くなる
COLOR（色）	薄くなる	濃くなる
TINT（色合い）	赤っぽくなる	緑っぽくなる
SHARPNESS（シャープネス）	柔らかくなる	くっきりする

4

EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

色温度設定のしかた

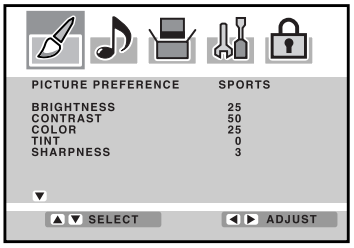
本機にはあらかじめシーンに合わせた色温度（色合い）設定が用意されています。
お好みに合わせて「COOL（寒色）」「MEDIUM（標準）」「WARM（暖色）」を切り換えてお楽しみになれます。



1

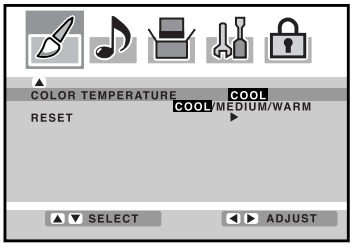
1 MENU（メニュー）を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（ピクチャーメニュー）を選ぶ。



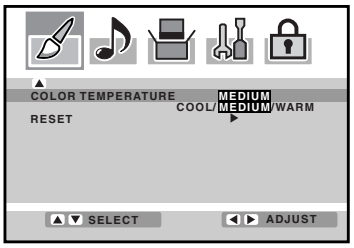
2

《/》で「COLOR TEMPERATURE（色温度）」を選ぶ。



3

《/》でお好みの設定を選ぶ。



モード	映像品質
COOL（寒色）	寒色が強調され、よりダイナミックな映像が楽しめます
MEDIUM（標準）	標準の設定
WARM（暖色）	映画などに適した設定です

4

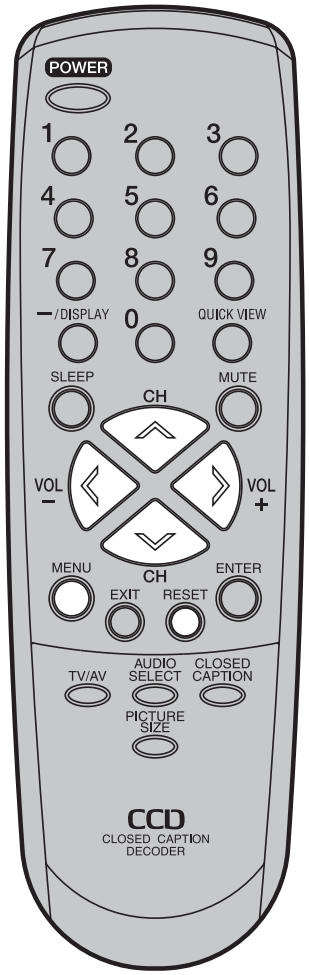
EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

ご注意

色温度を選択すると、自動的に映像メニュー設定（23ページ）は「MEMORY（ユーザー設定）」に変更されます。

ピクチャーメニューのリセットのしかた

リセット機能は、映像調整の数値等を次のお買い上げ時の設定に戻す機能です。

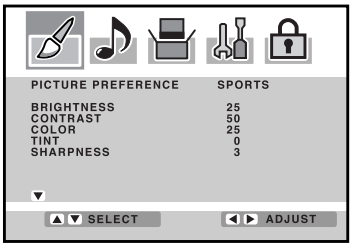


PICTURE PREFERENCE（映像メニュー）	SPORTS
BRIGHTNESS（明るさ）	中央（25）
CONTRAST（コントラスト）	最高（50）
COLOR（色）	中央（25）
TINT（色合い）	中央（0）
SHARPNESS（シャープネス）	中央（3）
COLOR TEMPERATURE（色温度）	COOL（寒色）

1

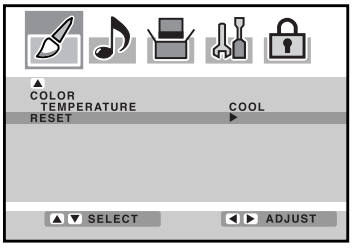
1 MENU（メニュー）を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（ピクチャーメニュー）を選ぶ。



2

〈/〉で「RESET（リセット）」を選び、》を押す。

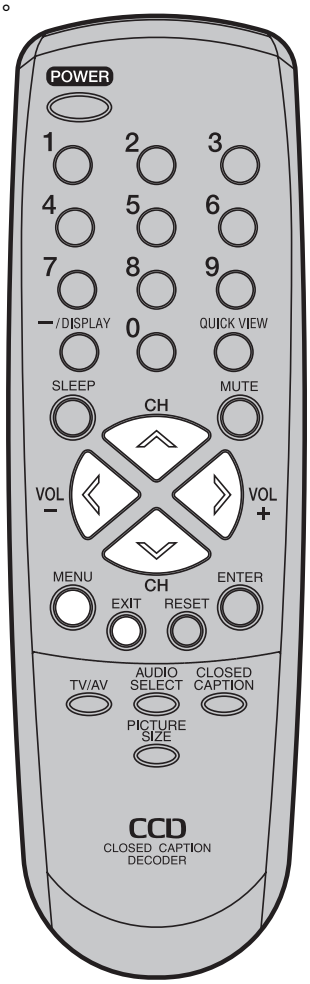


メモ

（ピクチャーメニュー）で**RESET**（リセット）を押しても、映像調整の数値等をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

音声調整のしかた

お買い上げ時は、標準の音声に調整しています。普段は調整する必要はありません。お好みに合わせて「BASS（低音）」「TREBLE（高音）」「BALANCE（バランス）」を調整できます。



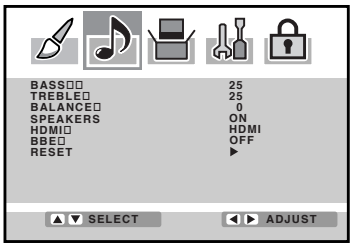
メモ

- 調整画面は、約60秒で消えます。途中で調整画面が消えたときは、もう一度最初からやり直してください。

1

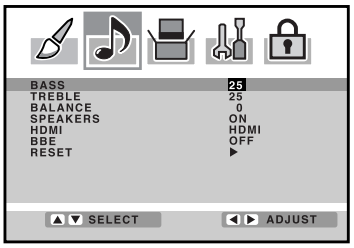
1 MENU（メニュー）を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（オーディオメニュー）を選ぶ。



2

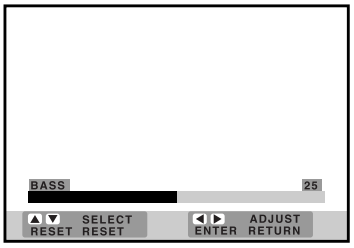
∧/∨で調整項目を選ぶ。



3

1 《/》を押す。
選択した項目の調整画面が表示されます。

2 《/》で お好みの音声に調整する。



- 引き続き他の音声を調整するときは、∧/∨を押して調整項目を選び、この操作を繰り返し行います。

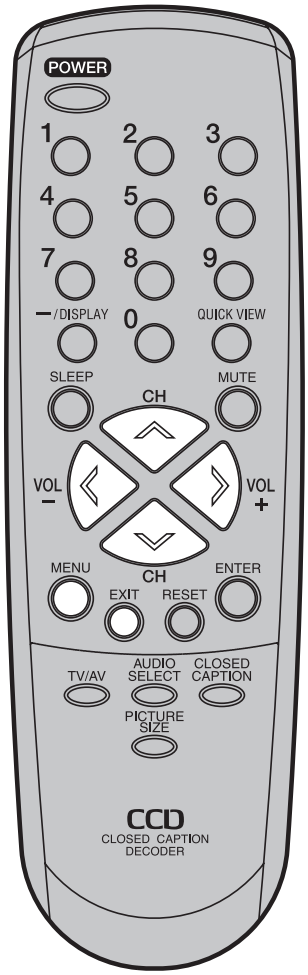
調整項目	《 ボタン	》 ボタン
BASS（低音）	軽減される	強調される
TREBLE（高音）	軽減される	強調される
BALANCE（バランス）	左のスピーカーの音が大きくなる	右のスピーカーの音が大きくなる

4

EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

内蔵スピーカーを消音する

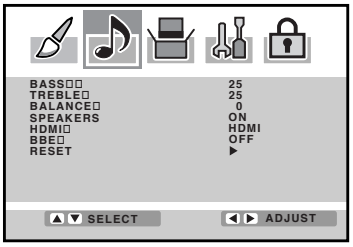
本機をAV機器と接続しているときに（36ページ）、内蔵スピーカーを消音することができます。



1

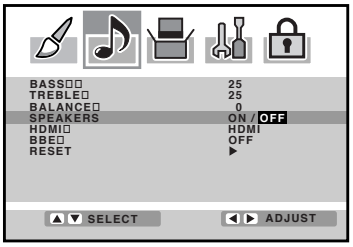
1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（オーディオメニュー）を選ぶ。



2

《/》で「SPEAKERS（スピーカー）」を選び、《/》で「OFF（オフ）」を選ぶ。



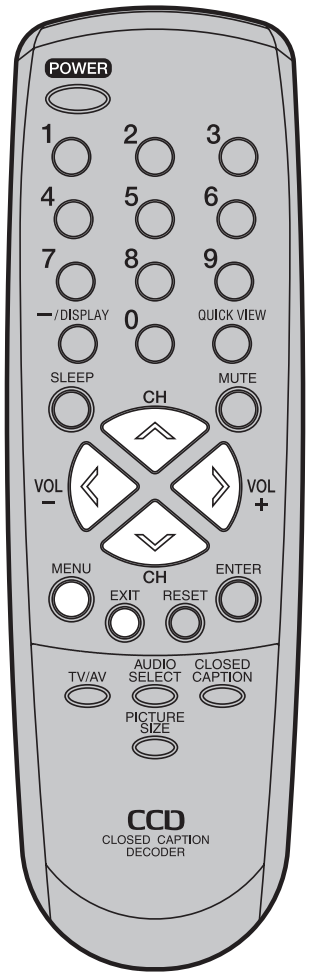
3

EXITを押す。
通常の画面に戻ります。

内蔵スピーカーから音を出すようにするには
上記手順2で「ON（オン）」を選びます。

HDMI 音源の選択

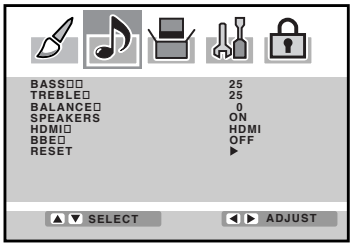
本機の HDMI AUDIO IN 端子と HDMI/DVI 機器を接続しているときに「HDMI」か「DVI」かを選択します。



HDMI 音源を選択するには

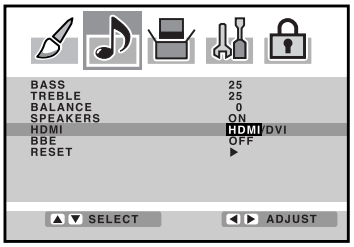
1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（オーディオメニュー）を選ぶ。



1

∧/∨で「HDMI」を選び、《/》で「HDMI」「DVI」を選ぶ。



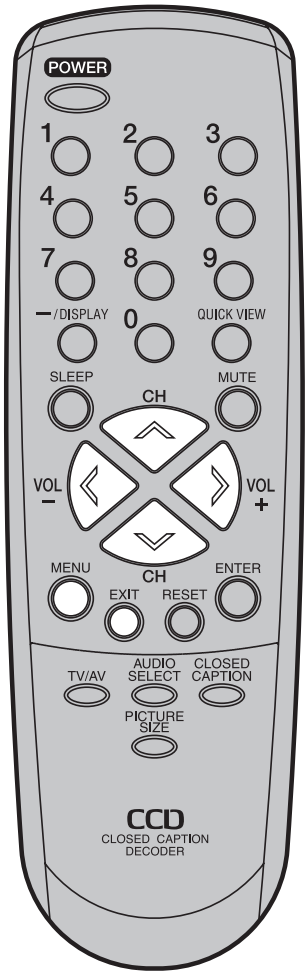
2

HDMI： HDMI 機器を接続しているときに選びます。
DVI： DVI 機器を接続しているときに選びます。

3 EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

BBEの設定のしかた

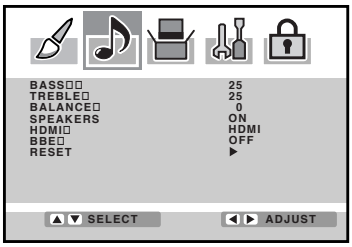
スピーカーシステムによる音の遅れやひずみを補正することにより、BBEは原音に忠実な音を再現します。人の声はよりはっきりと、音楽は自然でくっきりした音になります。



1

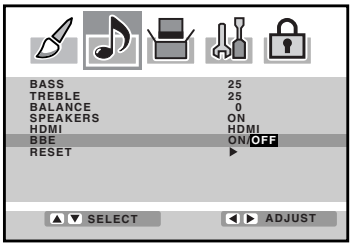
1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（オーディオメニュー）を選ぶ。



2

∧/∨で「BBE」を選び、《/》で「ON（オン）」「OFF（オフ）」を選ぶ。



3

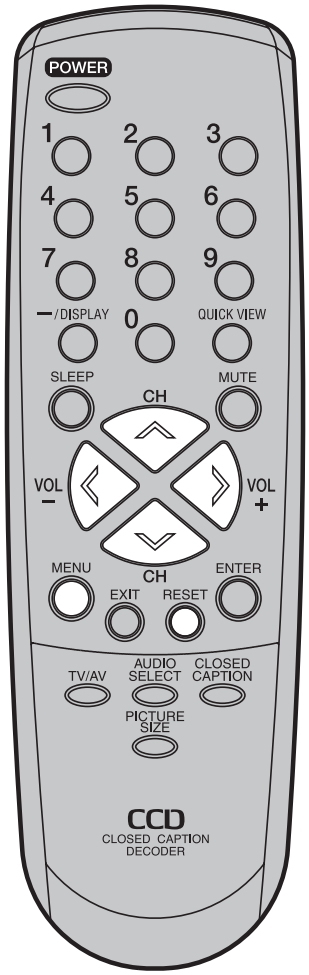
EXITを押す。
通常の画面に戻ります。

メモ

この製品は米国BBE Sound, Inc.の所有する特許USP5510752及び5736897を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

オーディオメニューのリセットのしかた

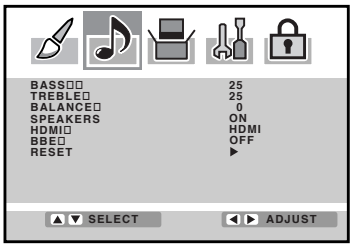
リセット機能は、音声調整の数値を次のお買い上げ時の設定に戻す機能です。



BASS（低音）.....中央（25）　BALANCE（バランス）... 中央（0）
TREBLE（高音）.....中央（25）

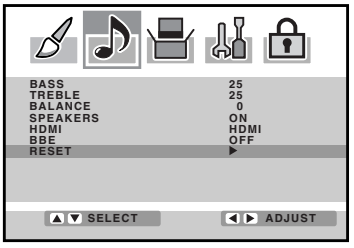
1 MENU（メニュー）を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（オーディオメニュー）を選ぶ。



1

《/》で「RESET（リセット）」を選び、》を押します。



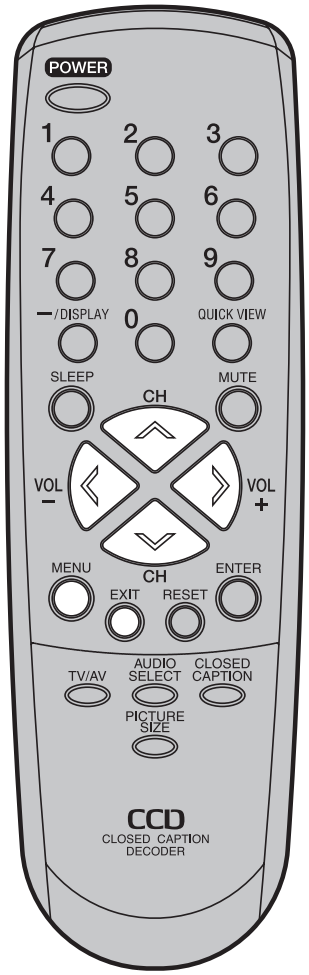
2

メモ

- （オーディオメニュー）で**RESET**（リセット）を押しても音声調整の数値をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

スクリーンセーバーの設定のしかた

静止画を長い間表示すると、画面に「焼き付き」が起き、一度起った焼き付きは完全には消えません（7ページ）。

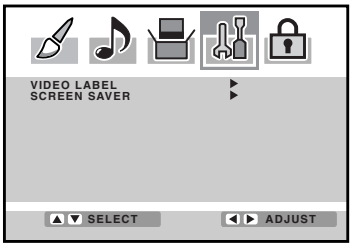


INVERSION/FULL WHITE

画面の焼き付きを抑える助けになります。

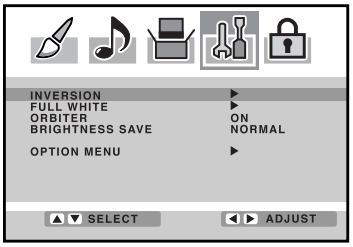
1 MENU(メニュー)を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 《/》で（オプションメニュー）を選ぶ。



2 ∧/∨で「SCREEN SAVER（スクリーンセーバー）」を選び、《/》を押す。

∧/∨で「INVERSION」または「FULL WHITE」を選び、《/》を押す。



INVERSION：
メニュー画面が消え、画面の色が反転します。

FULL WHITE：
メニュー画面が消え、画面は白一色になります。

3 ● 何かリモコンのボタンを押すと通常の画面に戻ります。

ORBITER

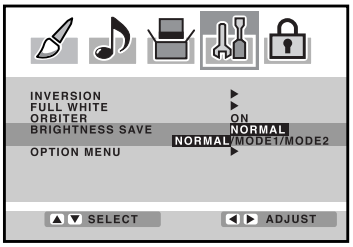
画面で絵が動き続けることによって、テレビ局のロゴ等の静止画の焼き付きを減らします。



ORBITERを有効にするには
上記手順3で「ORBITER」を選び、《/》を押します。
EXITを押すと通常画面に戻ります。

画面の明るさを設定する

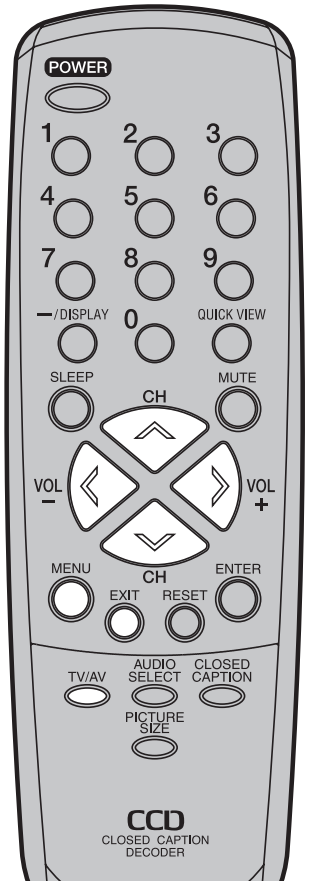
画面の明るさを調整することができます。



画面の明るさを調整するには
上記手順3で「BRIGHTNESS SAVE」を選び、《/》を押してお好みの明るさを選びます。
NORMAL： 通常の明るさです。
MODE1： 画面がうす暗くなります。
MODE2： 画面がMODE1よりも暗くなります。

EXITを押すと通常画面に戻ります。

PC モードの映像 / 音声調整のしかた

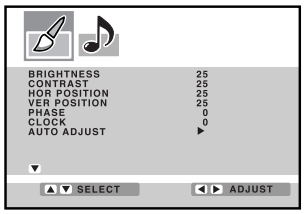


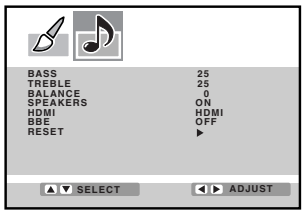
PC モニターメニュー

PC モードでの本機の性能を最適化するため、多くの調整可能な映像調整項目と音声調整項目があります。

PC モニターメニューを設定するには

TV/AV を押し、PC モードを選ぶ（12 ページを参照）。





1 **1** MENU(メニュー)を押す。
PC モニターメニュー画面が表示されます。

2 《/》で（映像調整メニュー）、または（音声調整メニュー）を選ぶ。

2 《/》で調整項目を選び、《/》でお好みの映像に調整する。
- 調整画面は約 60 秒間で消えます。途中で調整画面が消えたときは、もう一度最初からやり直してください。

3 EXIT を押す。
通常の画面に戻ります。

調整項目について

映像調整メニュー

BRIGHTNESS（明るさ）:
明るさを調整します。

CONTRAST（コントラスト）:
コントラストを調整します。

HOR POSITION:
水平方向の映像の位置を調整します。

VER POSITION:
垂直方向の映像の位置を調整します。

PHASE:
画質を最適化するためにPCの周波数を60ヘルツにセットしてから調整します。

CLOCK:
画面の垂直方向に走る縞を最小化します。

AUTO ADJUST:
この項目を調整すると「HOR POSITION」と「VER POSITION」の数値が自動的に調整され、それぞれの元の数値はキャンセルされます。この調整でご満足頂けないようであれば、「HOR POSITION」と「VER POSITION」を調整してください。

RED（赤）/GREEN（緑）/BLUE（青）:
色温度を調整します。

音声調整メニュー

BASS（低音）:
低音を調整します。

TREBLE（高音）:
高音を調整します。

BALANCE（左右）:
左右のバランスを調整します。

SPEAKERS:
内蔵スピーカーの「ON（オン）」「OFF（オフ）」を調整します。

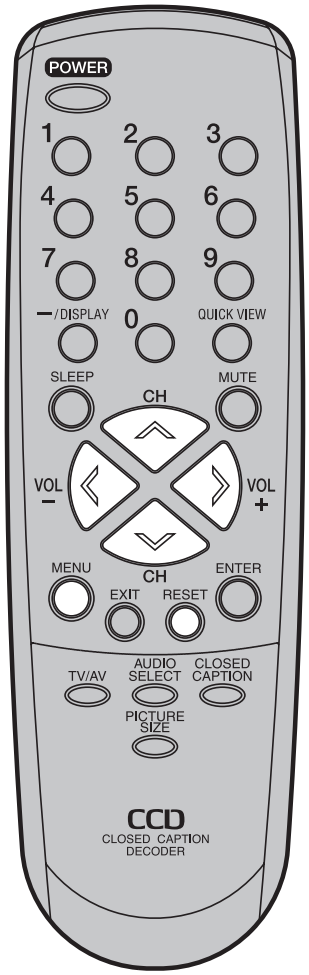
HDMI:
調整できません。

BBE:
BBE の「ON（オン）」「OFF（オフ）」を調整します。

ご注意
- オンスクリーン設定画面の使用言語を変えたい場合、14 ページの手順 1 ～ 5 を参照してください。
- PC モニターメニューでの調整は、PC モード以外では適用されません。

PC モードの映像 / 音声調整のリセットのしかた

リセット機能は、PC モードの映像調整の数値を次のお買い上げ時の設定に戻す機能です。



映像調整メニュー

BRIGHTNESS（明るさ）..... 中央（25）
CONTRAST（コントラスト）.... 中央（25）
RED（赤）..... 中央（25）
GREEN（緑）..... 中央（25）
BLUE（青）..... 中央（25）

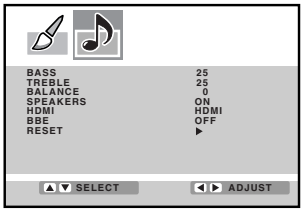
音声調整メニュー

BASS（低音）..... 中央（25）
TREBLE（高音）..... 中央（25）
BALANCE（バランス）中央（0）

1

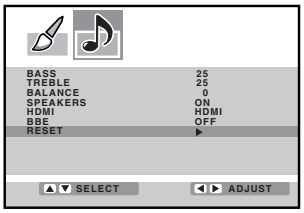
1 MENU(メニュー)を押す。
PC モニターメニュー画面が表示されます。

2 《/》で（映像調整メニュー）、または（音声調整メニュー）を選ぶ。



2

〈/〉で「RESET（リセット）」を選び、《/》を押す。



メモ

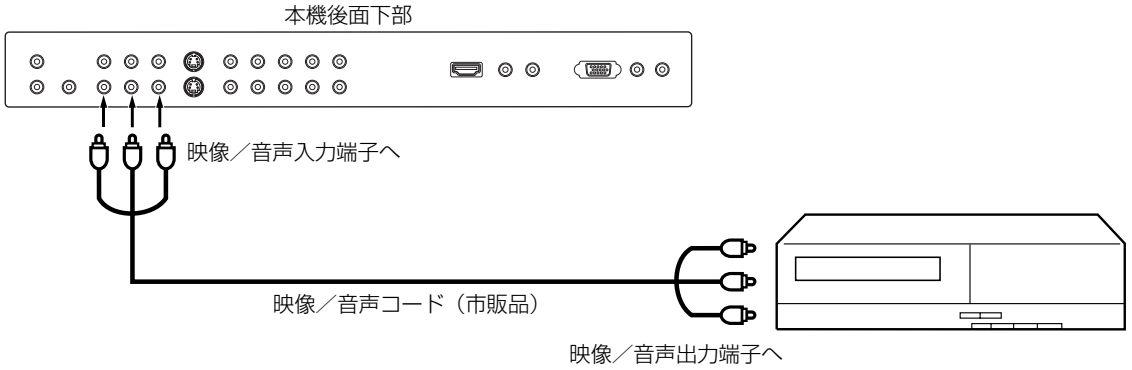
PC モニターメニューで **RESET**（リセット）を押しても、映像調整の数値を工場出荷時の設定に戻すことができます。

外部機器との接続

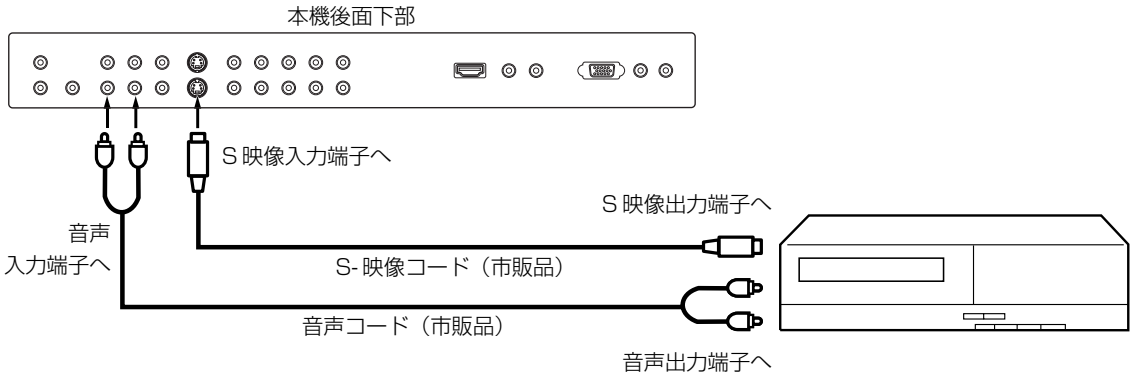
接続する前に

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を入れたままの接続は、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 接続するプラグは、各機器にしっかり差し込んでください。差し込みは不完全ですと、雑音が発生する恐れがあります。

ディスプレイとビデオデッキを接続する



ディスプレイとS-映像端子付きビデオデッキ／DVDプレイヤー／衛星放送チューナーを接続する

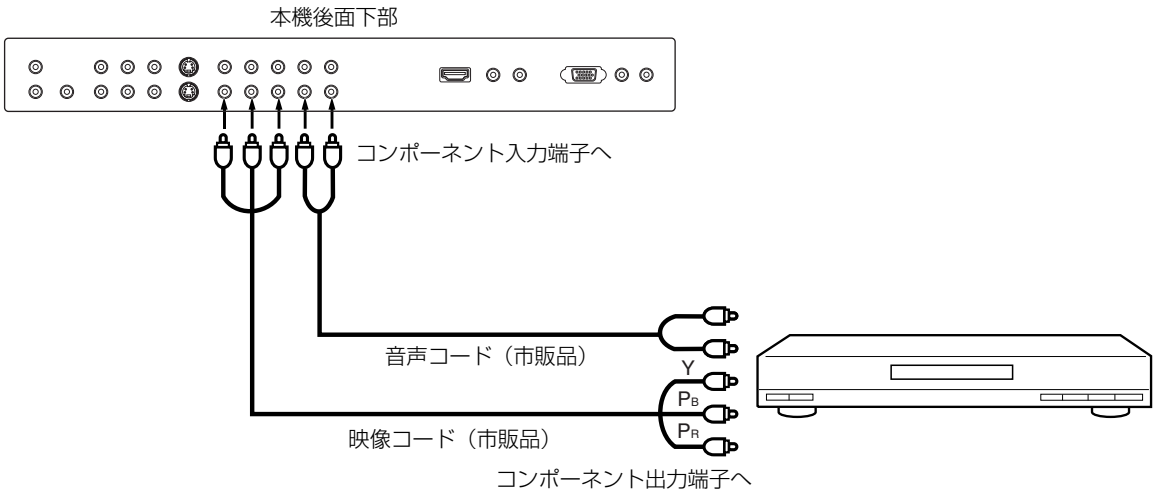


- S-映像端子と映像端子が同時に入力されたときは、S-映像端子が優先されます。

ご注意

- 外部機器との接続時に入出力端子を間違えて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 映像端子と音声端子を逆に接続しますと、映像も音声も出ません。映像、音声それぞれの端子が正しく接続されていることを確認してください。
- ステレオ機器と接続する場合、音声端子をL（左）、R（右）どちらに接続するのか、詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

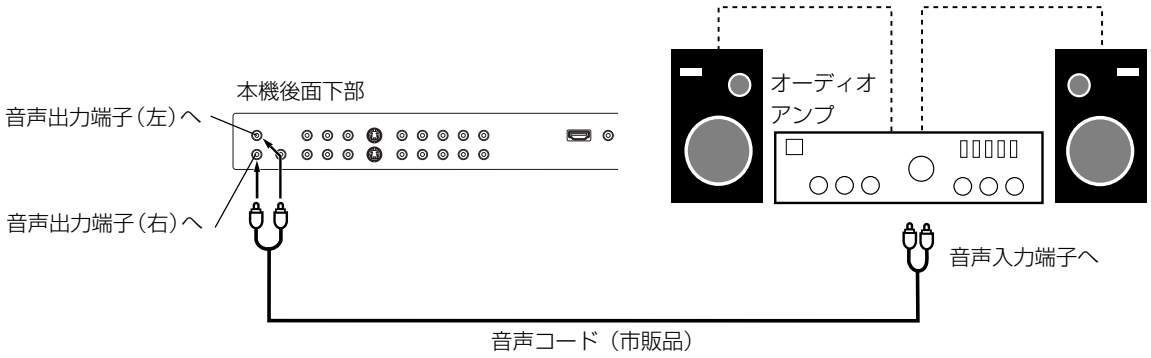
ディスプレイとコンポーネント端子付き DVD プレーヤー／デジタル TV チューナー／ケーブル放送チューナーを接続する



- 本機の COMPONENT IN ジャックは 480i/1080i インターレース信号と 480p/720p プログレッシブ信号に対応しています。

ディスプレイとオーディオシステムを接続する

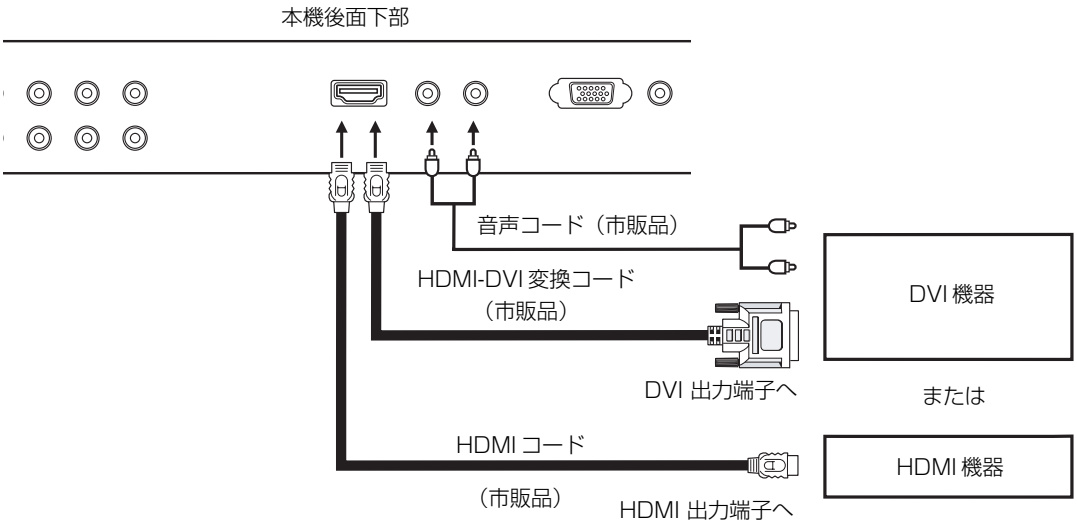
この接続によって、ディスプレイのリモコンでオーディオシステムの音量を調節することができます。
ディスプレイとオーディオアンプの電源を入れたあとディスプレイのスピーカーの音を消す（28 ページの「内蔵スピーカーを消音する」を参照してください）ことによってディスプレイのリモコンで調節できるようになります。



- オーディオアンプを通して聞く場合には、ディスプレイとオーディオアンプの音量を両方とも「0」より上に設定することが必要です。例えば、ディスプレイの音量が「0」であれば、オーディオアンプの音量が最大になっているとしても何も聴こえません。

ディスプレイとHDMI/DVI機器を接続する

HDMI入力端子は、HDMI機器のデジタル音声と圧縮されていない映像やDVI機器の圧縮されていないデジタル映像を入力することができます。本機にDVI機器をHDMI-DVI変換コードで接続している場合、映像信号のみが本機に転送されます。他に音声コードの接続が必要になります。

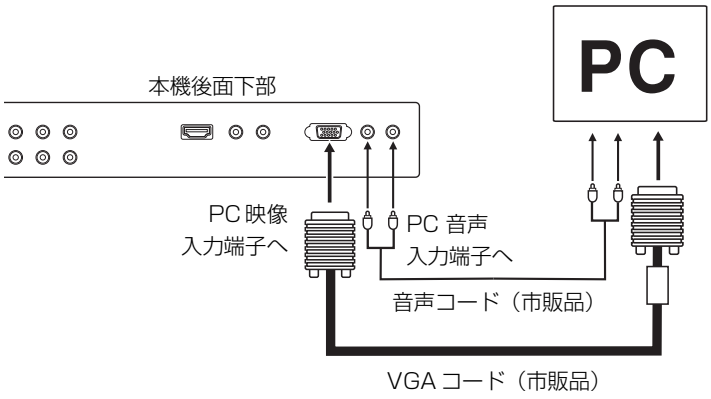


- 本機とHDMI/DVI機器それぞれに適切な設定が必要です（29ページ「HDMI音源の選択」を参照してください）。
- 対応する信号について
  映像信号： 480i、480p、720p、1080i
  音声信号： サンプリング周波数 32KHz／44.1KHz／48KHz

ディスプレイとパソコンを接続する

ディスプレイをパソコンに接続する前に、パソコンの解像度と垂直同期周波数（60Hz）を調整してください。VGAケーブルの片方を本機のPC INジャックに、そしてもう片方をパソコンのビデオカードに接続してください。マルチメディア対応のパソコンの場合、本機のPC AUDIO INジャックとパソコンのAUDIO OUTジャックを音声コードで接続してください。

TV/AVを押してPCモードを選択（12ページを参照）し、パソコンの電源を入れてください。本機をパソコンのモニターとして使用できます。

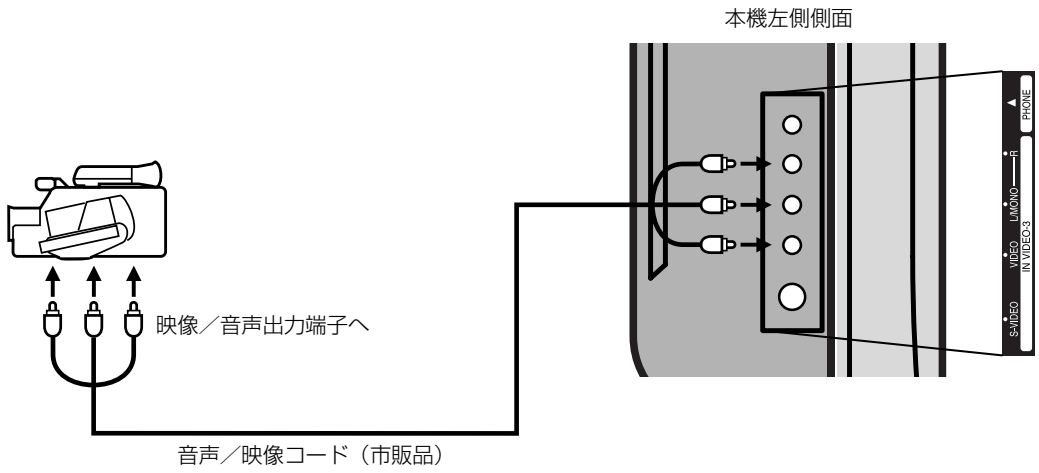


モニターディスプレイモード

モード	解像度	垂直同期周波数
VGA	640 × 480	60Hz
SVGA	800 × 600	56.3Hz
SVGA	640 × 480	60.3Hz
XGA	1024 × 768	60Hz

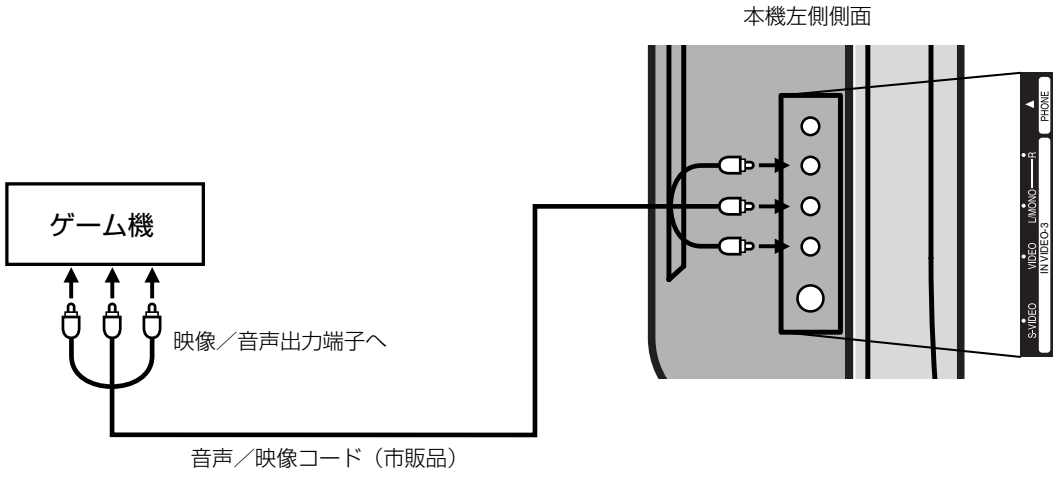
外部機器との接続 （つづき）

ディスプレイとビデオカメラを接続する



ディスプレイとテレビゲーム機を接続する

本機は数多くのテレビゲーム機と接続できます。しかし、テレビゲーム機から出力されるさまざまな信号や今後の変化を考慮すると、下に例示した接続例にすべてのテレビゲーム機が含まれるわけではありません。本機とテレビゲーム機の取扱説明書をよくお読みください。



故障かな？と思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下の表でチェックしてください。

症　状	主　な　原　因	チ　ェ　ッ　ク　項　目	参照ページ
電源が入らない。	①電源プラグが抜けている。	①コンセントにしっかり差し込む。	11
電源が入っているのに操作ができない。	①各種安全装置が働いている。	①電源コードを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。	11
音声は出るが画像がでない。	①「CONTRAST」「BRIGHTNESS」の調整が悪い。	①「CONTRAST」「BRIGHTNESS」の調整をしてください。	24
画像が映らない。	①異なる外部入力モードになっている。	①TV/AVボタンを押してお望みのモードにしてください。	12
画像の色や色合いが悪い。	①「COLOR」「TINT」の調整がずれている。	①「COLOR」「TINT」の調整をしてください。	24
画面にしま模様がでる。	①他のテレビや、ラジオ・ビデオ　パソコン・テレビゲーム・オーディオ機器などから妨害を受けている。	①妨害を受けているものから離してください。	－
画像は出るが、音声がでない。	①音量が最小になっている。	①音量＋ボタンを押してください。	12
	②ヘッドフォンが差し込まれたままになっている。	②ヘッドフォンを抜いてください。	12
	③リモコンのMUTEボタンを押している。	③リモコンのMUTEボタンを押して、ミュート状態を解除してください。	13
	④「SPEAKERS」設定が「OFF」になっている。	④「SPEAKERS」設定を「ON」にしてください。	28
リモコンで操作できない。	①電池の＋－が逆になっている。	①＋－を正しく入れてください。	10
	②電池が消耗している。	②2本とも新しいものと交換してください。	10
	③リモコンが本体の受光部に向いていない。	③リモコンを正しく向けてお使いください。	10

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズが入った場合などに誤動作を起こすことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
- プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 室温や湿度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮することで“ビシッ”と音がする場合がありますが、故障ではありません。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に39ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度お読みください。
ORION 製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店または、下記のサービスセンターにご相談ください。

■保証書（別に添付してあります。）
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの後、大切に保存してください。製造番号は品質管理上重要なものです。保証書と製品本体後面の製造番号をお確かめください。

■保証期間はご購入日から1年間です。

■修理サービスについて
この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、後の処理をしてください。

- 保証期間中は保証書の規定に従ってお買い上げの販売店、またはドウシシャサービスセンターが修理をさせていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日・お買い上げの販売店名
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後8年間です。

■アフターサービス等について、おわかりにならないとき
アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）窓口へお問い合わせください。



家電品
愛情点検明るい暮らし

長年ご使用のプラズマディスプレイの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源が入りにくい ・外部機器を接続しても映像や音が出ない ・煙が出たり、異常な臭いや音がする ・水や異物が入った ・音は出るが映像がでない ・その他の異常や故障がある

上記のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い上げの販売店に点検(有償)をご相談ください。

仕様

ディスプレイ	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力	350W (AC100V)	
	待機時消費電力	8.5W（POWERボタン「切」時）	
	外形寸法	71.7 (高さ)×121.0 (幅)× 34.0 (奥行) cm	
	質量	約41.5Kg	
	外部入力	後面映像端子 (2系統)	ＲＣＡピンジャック、S端子
		後面音声端子 (左右2系統)	ＲＣＡピンジャック
		後面コンポーネント映像端子 (2系統)	ＲＣＡピンジャック
		後面コンポーネント音声端子 (左右2系統)	ＲＣＡピンジャック
		後面ＰＣ映像端子 (1系統)	Mini-Dsub 15ピンジャック
		後面ＰＣ音声端子 (左右1系統)	ＲＣＡピンジャック
		後面ＨＤＭＩ映像端子 (1系統)	ＨＤＭＩジャック
		後面ＨＤＭＩ音声端子 (左右1系統)	ＲＣＡピンジャック
		側面映像端子 (1系統)	ＲＣＡピンジャック、S端子
		側面音声端子 (左右1系統)	ＲＣＡピンジャック
	外部出力	後面映像端子 (1系統)	ＲＣＡピンジャック
		後面音声端子 (左右1系統)	ＲＣＡピンジャック
	ヘッドフォン	3.5Φmmジャック	
	許容動作温度	(動作時) 5℃～40℃　(保存時) －20℃～60℃	
	許容相対湿度	80%以下	
	プラズマディスプレイ画面	42.32型(画素数：水平1024×垂直768ピクセル)	
	音声実用最大出力	10W + 10W	
	スピーカー	5.6×12.7cm, 4Ω×2（楕円）	
リモコン	電源	DC3V（単4乾電池×2）	
	質量	約60g	
	リモコン操作距離	約5m（ただし直進）	
付属品	リモコン×1、単4乾電池×2、電源コード（1.5m）×1		

ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。
実物とは多少異なりますのでご了承ください。
外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
本機をご使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan.

メモ

メモ

破棄時にご注意願います

2001 年４月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式）を破棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料）をお支払いいただき、対象商品の販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

DOSHISHA CORPORATION

発売元 株式会社ドウシシャ

株式会社ドウシシャ　福井 AV サービス
〒 915-0801　福井県越前市家久町 41-1
☎ (0778)24-2779
FAX (0778)24-2799

J3V03701A SH 06/02 U

Printed in Thailand